

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 0 1	特記仕様書 1	E - 0 1	電気設備特記仕様書
A - 0 2	特記仕様書 2	E - 0 2	空調動力盤仕様書
A - 0 3	メーカーリスト	E - 0 3	教室棟・管理棟幹線設備 1 階平面図
A - 0 4	設計概要・外部仕上表・内部仕上表	E - 0 4	教室棟・管理棟 空調・換気設備 1 階平面図
A - 0 5	附近見取図・配置図	E - 0 5	教室棟・管理棟 空調・換気設備 2 階平面図
A - 0 6	外部足場配置図	E - 0 6	教室棟・管理棟 空調・換気設備 2 階平面図
A - 0 7	アルミパネル・天井脱着 1 階平面図	E - 0 7	カルチャークリエーションセンター空調設備 1 階平面図
A - 0 8	換気扇嵌め込み用アルミパネル、アルミガラリ・天井脱着 2 階平面図		
A - 0 9	換気扇嵌め込み用アルミパネル、アルミガラリ・天井脱着 3 階平面図	M - 0 1	機械設備特記仕様書 1
A - 1 0	室外機基礎・軒天脱着クラフトルーム 1 階平面図	M - 0 2	空調・換気設備機器表
A - 1 1	部分詳細図	M - 0 3	教室棟・管理棟空調設備 1 階平面図
		M - 0 4	教室棟・管理棟空調設備 2 階平面図
		M - 0 5	教室棟・管理棟空調設備 3 階平面図
		M - 0 6	カルチャークリエーションセンター空調設備 1 階平面図
		M - 0 7	教室棟・管理棟自動制御 1 階平面図
		M - 0 8	教室棟・管理棟自動制御 2 階平面図
		M - 0 9	教室棟・管理棟自動制御 3 階平面図

1 2

木 工 事

1 一般事項

☒

土台、床下地盤、基礎に入る防虫処理剤を使用する。

☒

オプション材料使用の場合は、期間による防虫処理剤とする。但し、係員の承認を受けて、薬液による防虫処理剤を使用してもよい。

☒

水廻り及びびみずち、敷居廻は、増又は、同等以上の堅木を使用するものとする。

2 樹種及び等級

☒

見え隠れ材

☒

樹種

ベイマツ

☒

1 等級

☒

和風素材材

☒

樹種

スギ

☒

1 等級

☒

一般素材材

☒

樹種

スパルス

☒

1 等級

☒

材

☒

樹種

スパルス

☒

1 等級

☒

集積材の表面

☒

樹種

ナラ

☒

1 等級

3 防腐・防虫の処理

☒

見え隠れ部分の地下水面上に接する部分、及び地盤より1m以内の部分に行なうものとする。

1 3

屋 根 工 事

1 鋼板葺

☒

材料

☒

亜鉛鍍鉄板

☒

ビニール鍍鉄板

☒

着色ポリリウム鋼板

☒

その他()

☒

板厚

☒

厚

0.4

m/m

☒

工法

☒

平葺(一文字葺、ひし葺、瓦葺葺、横葺)

☒

波板葺(大家、小家)

☒

形状

☒

長尺

☒

短尺

☒

敷地板

☒

ドリゾール板

厚

m/m

☒

木毛セメント板

厚

m/m

☒

杉板

厚

m/m

☒

その他(ノジライト18

☒

アスファルトルーフィング(2.2K以上)

☒

アスファルトフェルト(2.0K以上)

☒

その他()

2 スレート葺

☒

材料

☒

石綿大波

☒

石綿小波

☒

石綿平板

☒

リブ

☒

その他()

3 折板構造

☒

材料

☒

亜鉛鍍鉄板

☒

片面カラー鉄板

☒

ビニール鍍鉄板

☒

その他(ガリバリウム鋼板

☒

板厚

☒

0.8

m/m

裏面バツ付

☒

設置

☒

耐火

☒

断火

☒

断熱

☒

断熱

☒

断熱

☒

工法

☒

指定製造所の仕様による。

4 アスファルトシングル葺

☒

材料・工法

5 その他の屋根葺

☒

材料・工法

6 樋

☒

製法

☒

VP葺(φ90・75

m/m)

☒

VU葺(φ

m/m)

☒

その他()

☒

谷樋

☒

カラー鉄板

☒

その他()

☒

軒樋

☒

カラー鉄板

☒

塩ビ製(アイアン素材大型折衝用120

型

☒

その他()

☒

防露

☒

建物内部に取付く部分は図示なき限りガラス繊維保温処理2.5mmのプラスファルトフェルトをビニールテープ覆えとする。

1 4

金 属 工 事

① 一般事項

☒

工事にあたっては、製作図を提出の上係員の承認を受けるものとする。

2 防錆処理

☒

外部金物

☒

シンクロメートメッキ処理

☒

亜鉛メッキ処理

☒

その他()

☒

内部金物

☒

JIS(鉛付シンクロメート鍍止塗料)に規定する。

☒

塗料1層塗とする。

☒

取付用下地金物

☒

指定なき限り亜鉛メッキ処理とする。

3 軽量鉄骨天井及び壁下地材

☒

軽量鉄骨天井下地及び、壁下地は指定製造所製品とし、防錆処理はシンクロメートメッキ処理、又は亜鉛メッキ処理を施したものとする。

4 金属製階段ノンスリップ

☒

材質・巾

☒

ステンレス製

m/m

☒

アルミ製

4.0

m/m

☒

真鍮製

m/m

☒

鋼板

m/m

☒

その他()

☒

型式

☒

ダイヤ入

☒

ダイヤ無

5 ルーフドレイン

☒

材質

☒

鍍鉄製コールタール

密付仕上げとする。

☒

取付工法

☒

先付工法

☒

後付工法

6 マンホール

☒

種類

☒

並面

☒

防水型

☒

樹脂製

☒

防露型

☒

径(有・無)

☒

材質

☒

鍍鉄製

☒

アルミ製

☒

その他()

☒

型式

☒

丸型

☒

角型

☒

二重型化粧マンホール

☒

その他()

7 天井改め口

☒

材質

☒

アルミ特製

☒

ステンレス特製

☒

その他()

☒

寸法

☒

450mm/m角

☒

600mm/m角

☒

その他()

8 格子蓋・化粧蓋

☒

材質

☒

鍍鉄製

m/m

☒

ステンレス製

m/m

☒

その他()

9 製作金物

☒

材質・形状等は、設計図によるものとする。

10 E.P.J.

☒

材質

☒

アルミ製

☒

ステンレス製

☒

その他()

1 5

左 官 工 事

1 モルタル塗

☒

モルタルは電氣配管、排水管、防水配その他の埋設物に応じて係員と協議の上使用するものとする。

☒

塗装

内装

☒

2.0mm

☒

5mm

☒

外装

☒

2.0mm

☒

目地処理モルタル

☒

5mm

☒

床

☒

3.0mm

☒

基礎天端均し

☒

2.0mm

☒

1.5mm(エポキシ薄肉樹脂モルタル)

☒

共通

☒

20センチ直昇ス

2 防水モルタル壁

☒

防水剤は指定製造会社の製品とし、モルタルの項に準じて仕上げる。

☒

割合容積比

☒

セメント

☒

1

☒

砂

☒

2

☒

防水剤(製造会社の指定量)

3 プラスター壁

☒

種類

☒

ドロマイトプラスター

☒

石膏プラスター

☒

その他()

☒

ラスボード

☒

厚

9mm/m

☒

厚

7mm/m

☒

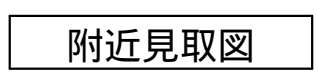
その他()

</

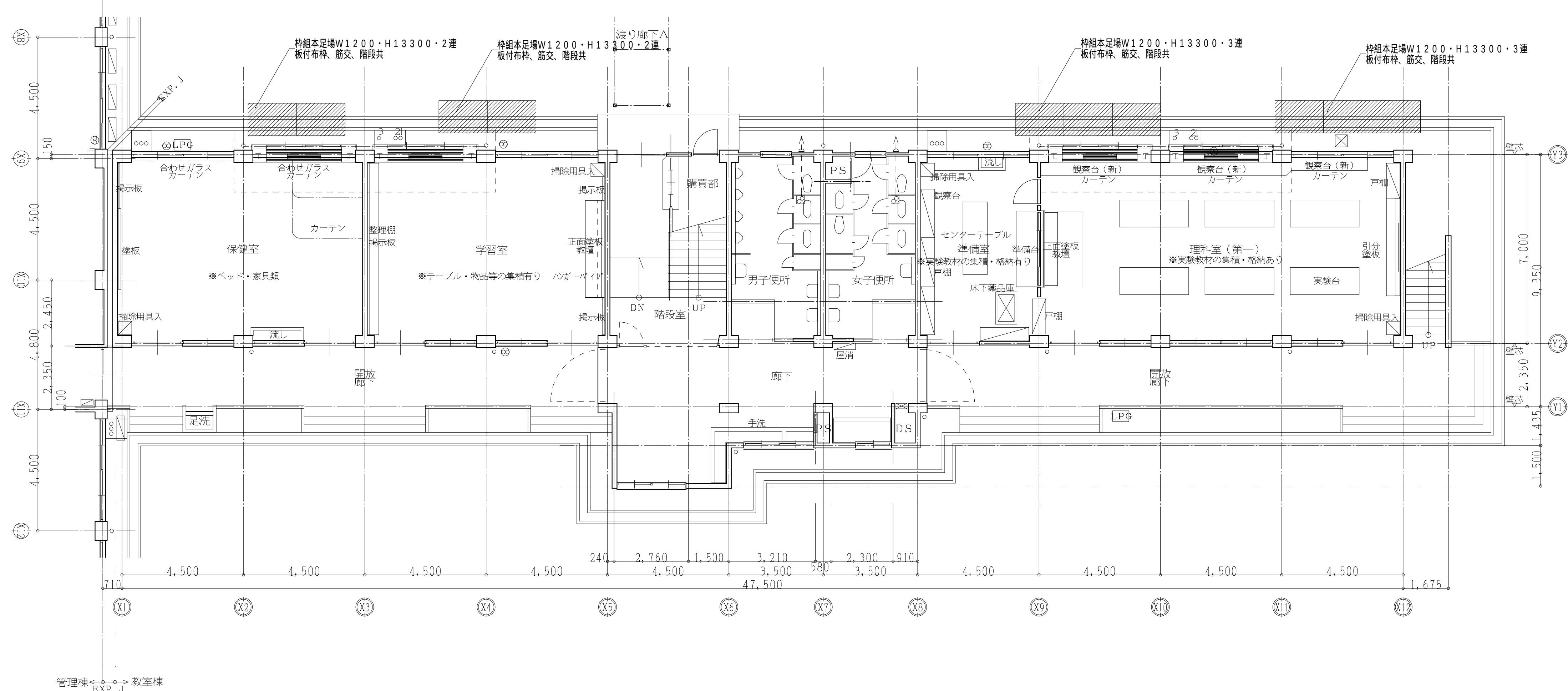
メーカーリスト																					
工事名	材料名	商品名	会社名等	備考	工事名	材料名	商品名	会社名等	備考	工事名	材料名	商品名	会社名等	備考	工事名	材料名	商品名	会社名等	備考		
屋根工事	金属葺		元旦ビューティー工業 淀川製作所 三晃金属		建具工事	アルミニウム製建具 J I S規格品		三協アルミ Y K K A P トステム		タイル工事	タイル		I N A X T O T O ダントー		雑工事	キッチン		サンウェーブ クリナップ タカラスタンダード			
	アスファルト防水		ダイフレックス 日本アスファルト 防水事業共同組合 日新工業			木製建具		高島屋 永永製作所 西尾家具			石材		関ヶ原石材 安藤大理石 矢橋大理石			洗面台		T O T O I N A X クリナップ			
	埴		松下電工 積水化学工業 タニタハウジングウェア			ガラス		旭硝子アメニテック 日本板硝子 セントラルガラス		外装工事	吹付工事		アイカ工業 エスケー化研 近庄化学			衛生陶器		T O T O I N A X			
						建具金物		ユニオン 美和ロック ゴール			A L C工事		クリオン ヘーベル シボレックス			化粧鏡		T O T O I N A X			
						自動ドア		ナブコ 三協アルミ トステム			サイディング工事		アスク ニチハ クボタ			タオル掛け・紙巻器		T O T O I N A X			
金属工事	製作金物		中村益造商店 山本金属製作所 竹内金物		シャッター		文化シャッター 三和シャッター 東洋シャッター 東工シャッター		金属サイディング工事			淀川製作所 チューオー アイジー工業		ウォールキャビネット			T O T O I N A X クリナップ				
	グレーチング		カネソウ 日本ビット アトラス			トイレブース		小松ウォール K O K U Y O I T O K I 文化シャッター								ユニットバス		T O T O I N A X タカラスタンダード			
	既製品手すり		ナカ工業 アトラス Y M工業				アルミ間仕切			小松ウォール K O K U Y O I T O K I 文化シャッター							ブラインド		立川ブラインド工業 ニチペイ㈱ トウソウ㈱		
	アルミパネル		三協アルミ トステム 不二サッシ														カーテン		住之江織物 川島織物 サンゲツ		
	軽鉄下地		マンテン 三洋工業 日本フェラス工業					内装工事		吉野石膏 ロンシール工業 ワーロン 日東紡 ニチラス 東リ 東レ A B C 商会 川島織物 住之江織物 大建工業 フクビ化学工業 ブリジストン タジマ サンゲツ 大日本印刷 S I N C O L アイカ工業 朝日ウッドテック							洗濯機パン		T O T O I N A X A B C 商会		
	ピクチャーレール		フクビ化学工業 中村多喜弥商店 大建工業													家具		ヤガミ I T O K I 高島屋			
	カーテンレール		住之江織物 川島織物 フクビ化学工業											サイン			I T O K I メイバン コトブキ				
	点検口		ナカ工業 日本ビット マンテン											ネットフェンス			朝日スチール工業 シコク 三協アルミ オーケー 器材				
	O Aフロアー		I T O K I K O K U Y O フクビ化学工業											室外機防護フェンス ホイスト			日立産機システム 三菱電機 F A 産業機器 日本ホイスト				
	既製品笠木		三協アルミ カネソウ A B C 商会																		
	E X P . J		三協アルミ カネソウ A B C 商会																		

設計概要		外部仕上表				
工事名称	京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校）	屋根		雨樋		下足入
工事場所	京都府船井郡京丹波町市場丸々野 4	軒裏		ヒサシ		屋外階段
主要用途	中学校	外壁		犬走り		屋上ネットフェンス
用途地域	指定なし	基礎・巾木		ポーチ		ベランダ手摺
工事期間	発注者作成の特記仕様書に記載	建具		スロープ		外構
工事規模	－	注記事項		共通事項		
工事種別	空調設備設置	1) 本工事は既存改修工事であるので、設計図書に示されていない当然予想される工事・改修・補修・清掃・調整・現状回復等の必要が生じた場合もすべて本工事に含むものとする。学校が開校されている時期に工事を行う時は、生徒・職員・来訪者等の安全に十分注意すること。 2) 上記の場合は、施工者・監理者・発注者が協議の上、施工方法・材料・仕様等を決定する。 3) 本工事の改修・撤去・清掃等の伴う現状回復のための補修材料は「既存部分と同等品以上」とし監理者の承認を受ける。 4) 本工事に新たに使用する仕上材・下地材等が発生した場合は原則的に全てF 認定品を使用すること。				
工事範囲	本設計図書に示したる全ての範囲〔 建築・電気設備・機械設備工事 〕					

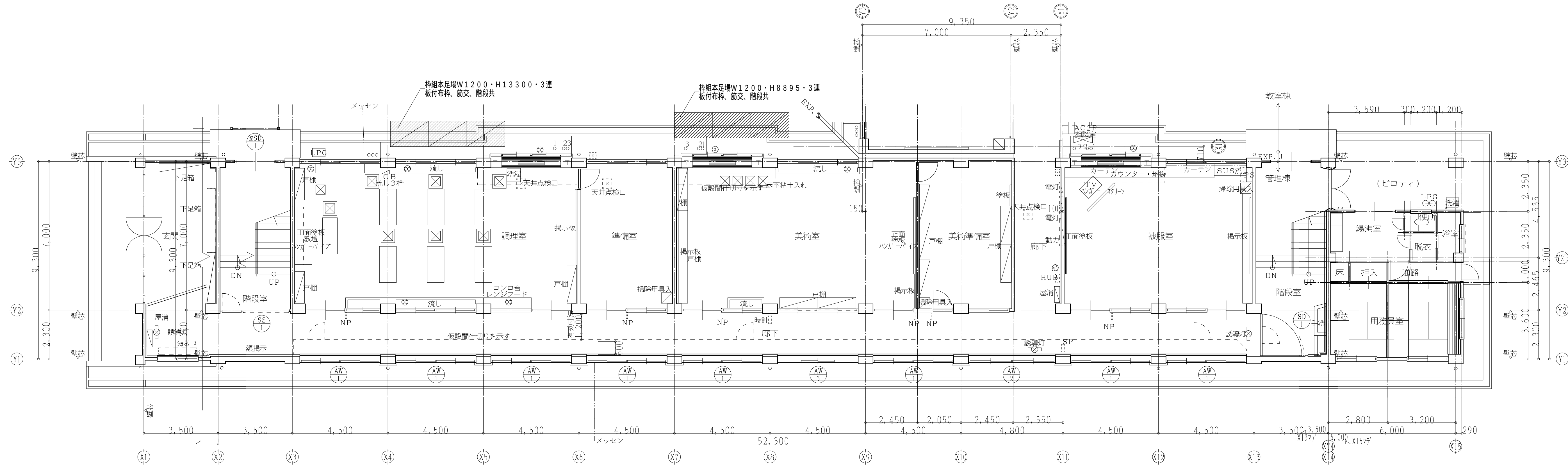
階	室名	床		床高	巾木	腰壁		腰高	壁		天井		天井高さ	廻り縁	備考
		施工範囲	仕上			施工範囲	仕上		施工範囲	仕上	施工範囲	仕上			
	普通教室											有孔石膏ボード9.5底目貼 股巻のみ			アルミパネル
	特別教室											有孔石膏ボード9.5底目貼 股巻のみ			アルミパネル



京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図				設計・監理 一般建築士事務所	
1/250 SCALE		1/800 SCALE		1/600 SCALE	
附近見取図		和知中学校配置図		野中建築設計事務所	
DW.		CK.	NO.	DATE	1級建築士第147931号 野中健一
		A-06	27-03	〒622-0014 京都府南丹市雲部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

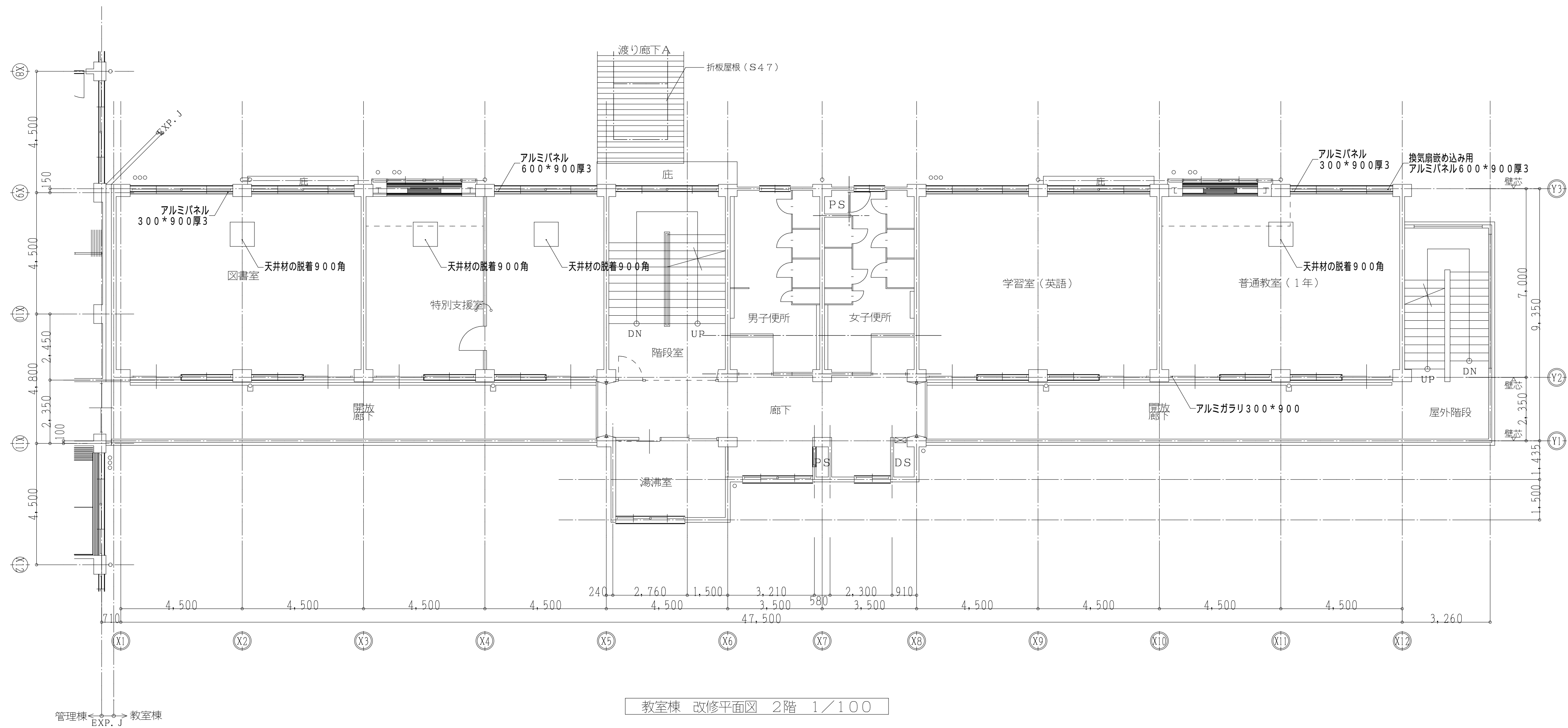


教室棟 外部足場平面図 1階

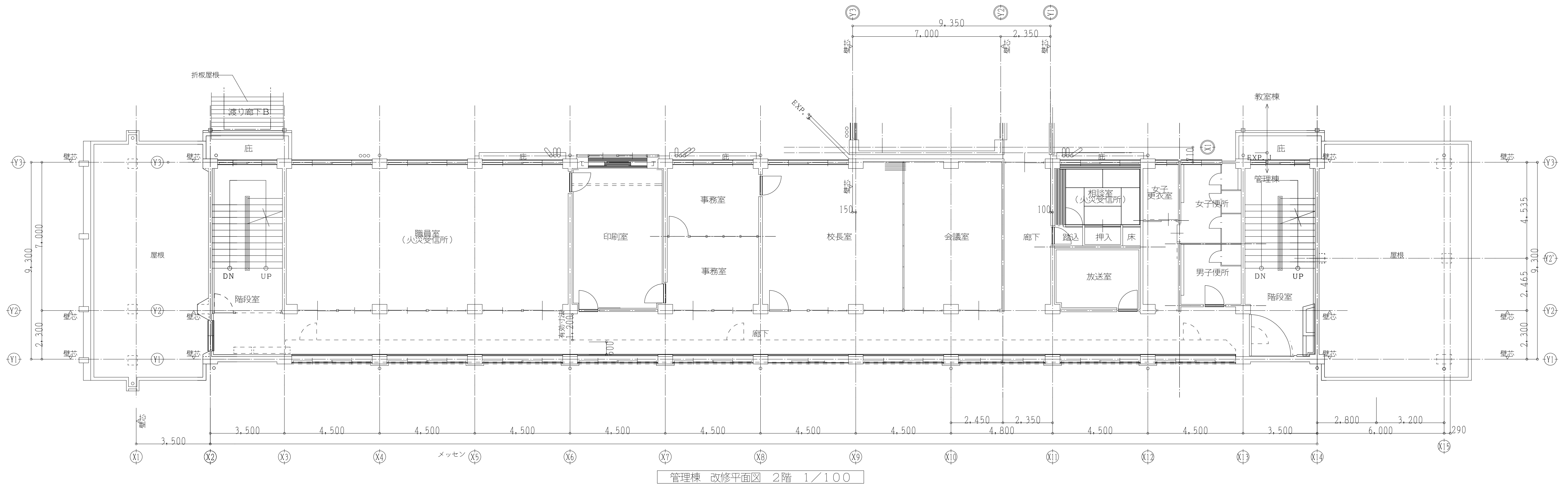


管理棟 外部足場平面図 1階

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事 (和知中学校) 設計図				設計・監理 一般建築士事務所	
和知中学校 1階平面図				野中建築設計事務所	
DW. CK. NO. A-06 DATE 27-03				1級建築士第147931号 野中健一	
				〒622-0014 京都府南丹市膳所町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

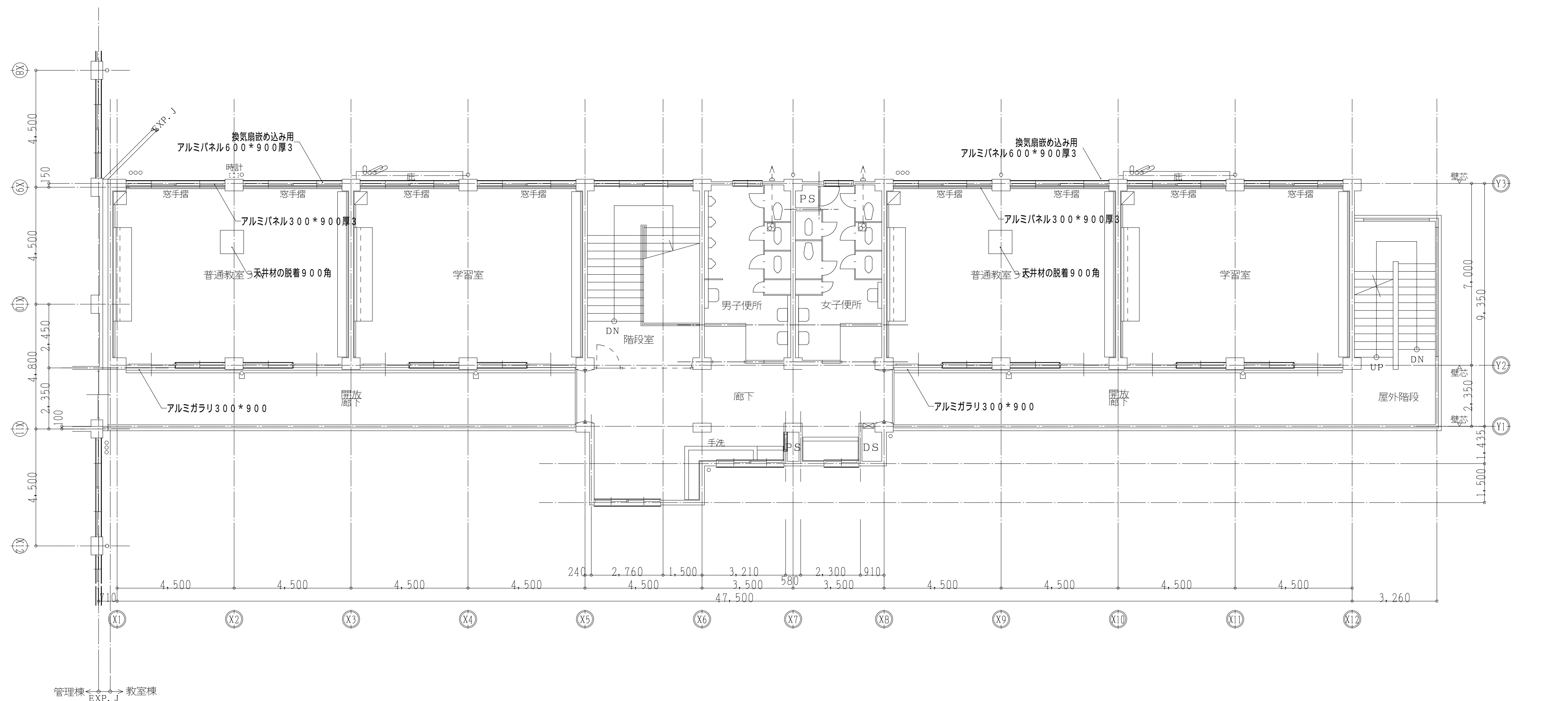


教室棟 改修平面図 2階 1/100

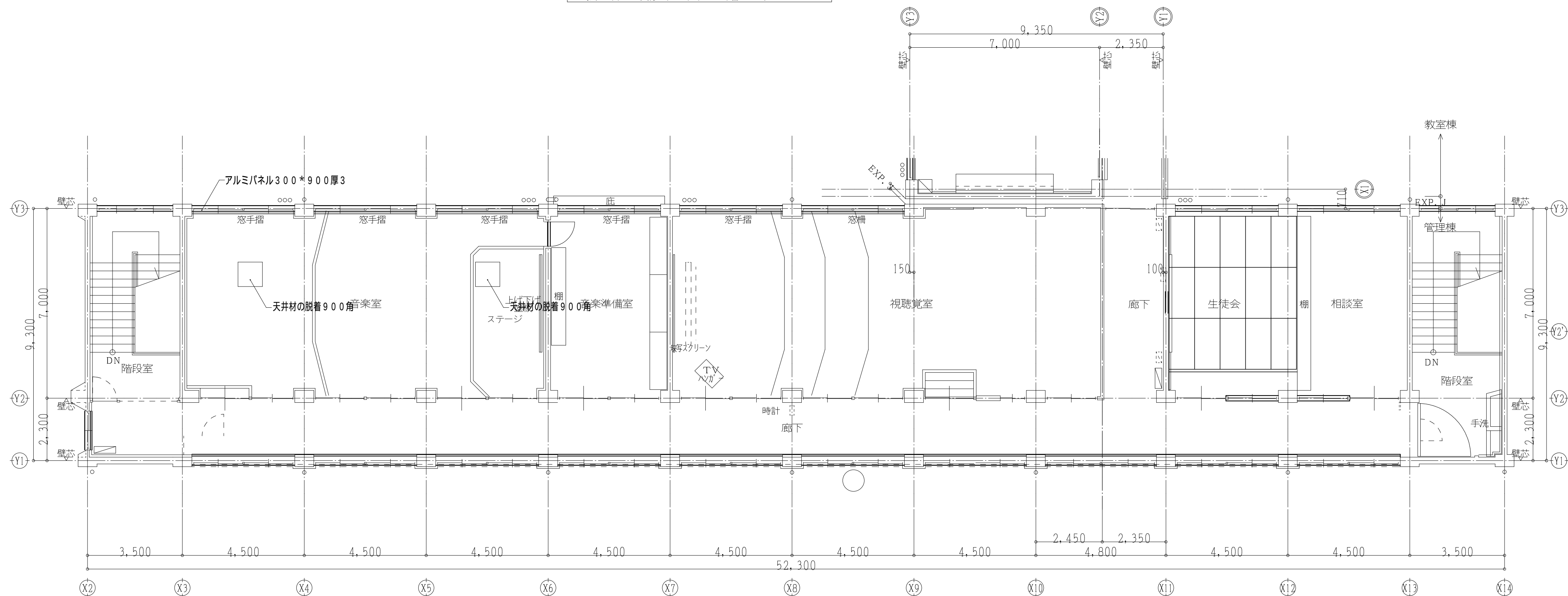


管理棟 改修平面図 2階 1/100

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校）設計図				設計・監理 一般建築士事務所	
和知中学校換気扇嵌め込み用アルミパネル、アルミパネル、アルミガラリ・天井脱着2階平面図				野中建築設計事務所	
1/100				1級建築士第147931号 野中健一	
DW.	CR.	NO.	A-08	DATE	27-03
				〒622-0014 京都府南丹市豊岡町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

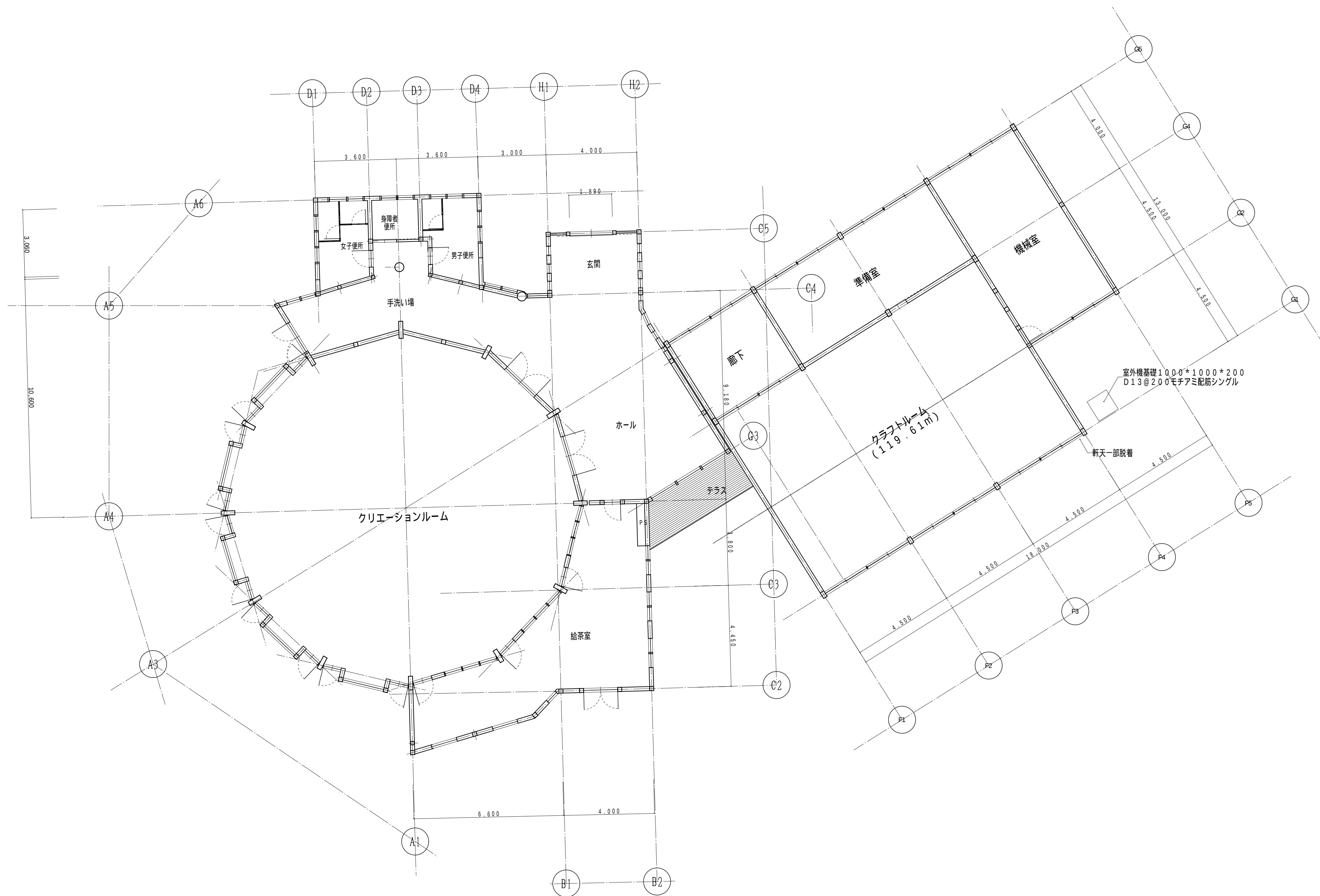
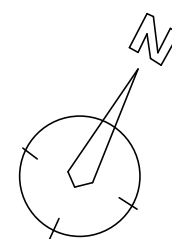


教室棟 改修平面図 3階 1/100



管理棟 改修平面図 3階 1/100

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図				設計・監理 一般建築士事務所	
和知中学校換気扇取込み用アルミパネル、アルミパネル、アルミガラリ・天井脱着3階平面図				野中建築設計事務所	
1級建築士第147931号 野中健一				〒622-0014 京都府南丹市膳部町上本町南2-20	
				TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	
DW.	CK.	NO.	A-09	DATE	27-03



平面図

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図				設計・監理 一級建築士事務所	
				野中建築設計事務所	
				1級建築士第147931号 野中健一	
和知中学校カルチャークリエーションセンター室外機基礎・軒天一部復旧1階平面図				〒622-0014 京都府南丹市豊前町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	
DW.	CK.	NO. A-10	DATE 27-03		

和知中室外機基礎 1 / 2 0	蒲生中室外機基礎 1 / 2 0	蒲生中・須知幼稚園室外機基礎及び保護パネル 1 / 2 0
D 13 @ 2 0 0 モチアミ配筋シングル 1.000 1.000 D 13 @ 2 0 0 モチアミ配筋シングル 差し筋 D 1 0 L = 2 2 0 合計 1 6 本 既存土間コンクリート	D 13 @ 2 0 0 モチアミ配筋シングル 6.000 1.200 D 13 @ 2 0 0 モチアミ配筋シングル 採石厚 1 5 0	1200 250 1200 550 基礎ポット位置 1200 250 1200 550 基礎ポット位置 1200 250 1200 550 基礎ポット位置

2 特記事項
項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

章

目

特記事項

●工事関係書類

管轄工事契約関係提出書類書式集 ◆一覧表により提出。
●京都府「Z」参照 <http://www.pref.kyoto.jp/eizen/index.html>
月報 ※2部 ○3部 毎月末日ごろ、翌月の5日までに提出する。

●履行報告

1) 建設大臣官庁官庁行営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂2版)ー建築設備編ー」による。

●工事写真

2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。
3) デジタルカメラで撮影可とする。

●完成図書

名 称	内 容	大きさ	部 数
●完成図	金文字製本	A4版	1 部
●完成図	●背紙製本(A1版) ○A4ファイル止め		2 部
●施工図	●背紙製本(A1版) ○A4ファイル止め		2 部
●機器完成図等	機器製作図 ファイル止め 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書	A4版	2 部
●諸官庁提出書類	副 本		1 式
●原図	完成図・施工図		1 部
●完成写真	アルバム綴り		2 部

電子納品については、現場説明書による。

●著作権等

当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に委譲するものとする。

●付属品及び予備品

標準仕様書によるほか、別表による。

●耐震施工

1) 設備機器の固着は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」による。
2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。

設置場所

○特定の施設

●一般の施設

	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.1(2.1)	1.5(2.1)	1.5(2.1)	1.1(1.5)
中 間 階	1.5(1.5)	1.1(1.5)	1.1(1.5)	0.8(1.1)
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.8(1.0)	0.8(1.0)	0.4(0.6)

設置場所	○特定の施設	○一般の施設
	水 槽	水 槽
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5
中 間 階	1.5	1.0
1階及び地下階	1.5	1.0

注1 () 内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。
注2 設計用鉛直震度、設計用水平震度の1/2とする。
注3 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上階2階。
注4 重要機器(水槽類)は、下記による。(水槽類にはオートランタンク等を含む。)
○配電盤 ○直流電源装置 ○自家発電装置 ○交換機
○電算用電源 ○中央監視装置 ○UPS装置 ○自動火災報知装置

○風圧力に対する性能

建築基準法に基づき定められた風速及び地表面粗度区分Ⅴ₀(○30 32 34) 地表面粗度区分○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ

○風圧力(耐風力)

建築基準法施行令第87条に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。なお、検討(計算)範囲は、それぞれ取付部分を定めるものとする。
○受電部システム及び1/2下階導線システム ○太陽光発電装置 ○風力発電装置
○テレビ共同受信アンテナ及びアンテナmast ○

●電線類

1) 特記なきものは、EM-IEとする。
2) EM電線、EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、次の記号及び仕様による。

EM-CEE-S	JCS4258(制御用ケーブル(並べ付))に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの
EM-アクセスフロア	JCS4502(600Vアクセスフロア用耐燃性ポリエチレンスケーブル)による600Vアクセスフロア用ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-EE)及び600Vアクセスフロア用架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンスケーブル(EM-CE)を示す。
EM-MEES	JCS4271に準じ、絶縁材及びシースにJCS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの

3) 長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線(樹脂設置鉄線等)を挿入する。

●電線管

電 線 管

※PFF管

たゞし、露出部分は銅製電線管とする。
分電盤等の2次側で第1ボックスまでは(※銅製電線管OPF管)とする。
○ねじなし電線管 ●ねじつき電線管
1) 雨線外及び湿気の多い場所または水気のある場所使用する露出電線管は、厚銅電線管とする。
2) スラブ厚の1/4を超える外壁の配管及び(PF22)又は(31)相当を超えるものは、コンクリート埋設配管を行わない。
最上階の埋込配管 最上階のスラブでコンクリート防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。
屋外及び屋内の露出配管は塗装(指定色塗装)を行う。

●電線本数、管路等

分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更することができる。

○ボックス

PFF管で配管する場合は、合成樹脂製ボックスを使用する。

○予備配管

分電盤の予備の配線用遮断器が4個以下の場合(25)を1本、5個以上の場合(25)を2本天井内まで立上げず。ケーブルラックの防火貫通部(51)を1本以上立上げる。

○フラッシュプレート

和 室

※樹脂製 ○金属製(※新金属製 ○ステンレス製)

その他

※樹脂製 ○金属製(※新金属製 ○ステンレス製)

○フロアプレート・ベース

水平高低調整式(空動防止)ハング付、0Aフロア一部分を除く)とする。
※铝金製 ○アルミ合金製

●機器

寸 法

盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。

接 続

電動機への接続は、本工事とする。

アンカーボルト

アンカーボルト及びナットは、下記による。
屋外・多湿室等 (※溶融亜鉛メッキ ○ SUS)
その他 (※一般品 ○)

●機器内配線等

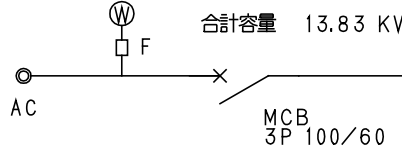
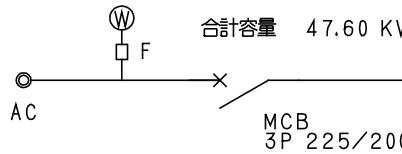
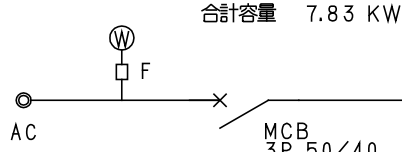
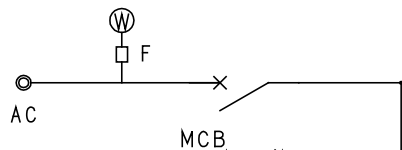
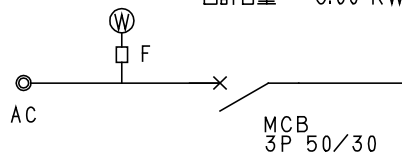
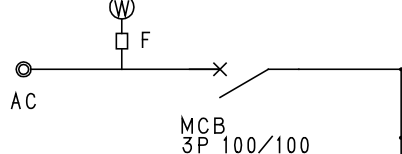
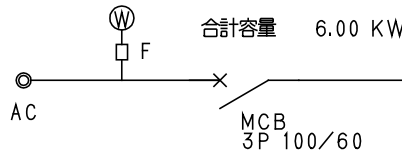
下記の機器内配線及びケーブルには、EM電線及びEMケーブルを使用する。
たゞし、高圧主回路配線はこの限りでない。
○分電盤 ○0A盤 ○実鉄盤 ●閉閉器箱 ○制御盤
○キュービクル式配電盤 ○直流電源装置 ○交流無停電電源装置(UPS)
○

章	項 目	特 記 事 項																																
共通事項	●はつり	1) 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修及び、金属管・ケーブル用貫通部処理材とする。																																
	○再使用機器	取り外した上再使用する機器は、清掃し絶縁抵抗測定の上取付ける。なお照明器具等の見え掛かり部分は、洗剤を使用するなどして、十分に清掃する。																																
	○その他	屋外の盤類・開閉器箱 ※SUS ○鋼板型 プルボックス ※SUS ○鋼板型																																
	○工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付																																
電	○電気方式	幹線 ○単相3線式 100V / 200V ○直流2線式 100V 分岐 ●単相2線式 ●100V ●200V ○直流2線式 100V																																
	○照明制御による効果の評価	社団法人日本照明器具工業会技術資料130「照明制御装置による消費電力削減効果の評価手法」により、消費電力削減効果の評価を行い監督職員に提出する。																																
	○照明制御装置〔グ〕	照明制御装置の各センサー設定は、監督職員の指示による。センサー設定器を附属させる。																																
	○多重伝送制御システム ○蛍光灯アップ	多重伝送制御システムの設置は、監督職員の指示による。システム設定器を附属させる。 蛍光灯照明器具の安定器回路方式及び電圧は、標準図及びJIL5004-2009「公共施設用照明器具」に指定のあるもの、図面特記があるものを除き下記による。																																
灯		<table><tr><th colspan="2">蛍 光 灯 の 種 類</th><th>回路方式</th><th>電圧 (V)</th></tr><tr><td>環形 (ホームライトを除く)</td><td></td><td>GH</td><td>100</td></tr><tr><td>直管形</td><td>15形以下</td><td>GL</td><td>100</td></tr><tr><td></td><td>20形 (防雨形・防湿形・電池内蔵形・非常照明)</td><td>GL</td><td>100</td></tr><tr><td></td><td>20形 (上記以外のもの)</td><td>GH (EH)</td><td>100</td></tr><tr><td rowspan="2">〔グ〕H形</td><td>FHF16形</td><td>PH</td><td>○100 ○200</td></tr><tr><td>FHF32形</td><td>OPN OPH</td><td>○100 ○200</td></tr><tr><td>コンパクト形〔グ〕H形</td><td>FHT24形, FHT32形, FHT42形, FHP32形, FHP45形</td><td>PN</td><td>○100 ○200</td></tr></table>	蛍 光 灯 の 種 類		回路方式	電圧 (V)	環形 (ホームライトを除く)		GH	100	直管形	15形以下	GL	100		20形 (防雨形・防湿形・電池内蔵形・非常照明)	GL	100		20形 (上記以外のもの)	GH (EH)	100	〔グ〕H形	FHF16形	PH	○100 ○200	FHF32形	OPN OPH	○100 ○200	コンパクト形〔グ〕H形	FHT24形, FHT32形, FHT42形, FHP32形, FHP45形	PN	○100 ○200	
	蛍 光 灯 の 種 類		回路方式	電圧 (V)																														
	環形 (ホームライトを除く)		GH	100																														
	直管形	15形以下	GL	100																														
	20形 (防雨形・防湿形・電池内蔵形・非常照明)	GL	100																															
	20形 (上記以外のもの)	GH (EH)	100																															
〔グ〕H形	FHF16形	PH	○100 ○200																															
	FHF32形	OPN OPH	○100 ○200																															
コンパクト形〔グ〕H形	FHT24形, FHT32形, FHT42形, FHP32形, FHP45形	PN	○100 ○200																															
備	○RP又はMP形照明器具	標準図において、防雨形または防湿形の器具本体の材質に、SUSを含む複数の材料が適用されている場合は、SUSを適用する。																																
	○非常用照明の形式	○電池内蔵形 ○電池別置形																																
	○フロアコンセント	○引出し形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○OAフロア用																																
	○分電盤等	本工事の分電盤、OA盤、実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器及び漏電遮断器の寸法は、JIS C 8201-2-1「回路遮断器」、同付属書XC「電圧分電盤用協約形回路遮断器」による。特記なき場合、分岐に用いる2極の配線用遮断器及び漏電遮断器は、1極サイズのものとす。 OA盤の端子部は ○通気口 ○冷却ファン を設ける																																
動	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付																																
	●電気方式	幹線 ●三相3線式 200V ○ 分岐 ●三相3線式 200V ○																																
	○制御盤	単位ユニットの電源端子は負荷端子の手前に接続する。制御回路に用いる変圧器は絶縁変圧器とする。																																
	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視																																
力	○インターロック	自動火災報知設備の受信機、連動制御器及び火災漏れ火災警報受信機と連動して、空調機を停止させる。																																
	○インバータ装置の規約効率	三相可変性電動機用インバータ装置の規約効率は、次表の値以上とする。 <table><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>0.4</td><td>0.75</td><td>1.5</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>5.5</td><td>7.5</td></tr><tr><td>介入効率 (%)</td><td>85.0</td><td>87.0</td><td>88.5</td><td>89.5</td><td>90.0</td><td>90.5</td><td>91.0</td></tr><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>11</td><td>15</td><td>18.5</td><td>22</td><td>30</td><td>37</td><td>45</td></tr><tr><td>介入効率 (%)</td><td>91.5</td><td>92.0</td><td>92.5</td><td>93.0</td><td>93.5</td><td>94.0</td><td>94.5</td></tr></table> 備考) 1) 電動機の供給電圧は100V又は200Vとする。 2) インバータ 効率は、100%負荷時の値とする。	電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	介入効率 (%)	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0	電動機出力 (kW)	11	15	18.5	22	30	37	45	介入効率 (%)	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5
	電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5																										
	介入効率 (%)	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0																										
電動機出力 (kW)	11	15	18.5	22	30	37	45																											
介入効率 (%)	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5																											
雷	○工事範囲	○外部雷保護システム (○受雷部システム ○引下り導線システム ○接地システム) ○内部雷保護システム																																
	○保護レベル	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ																																
	○受雷部システム	突針支持管 ※鋼製 ○ステンレス製																																
	○接地システム	○A型 接地極 (○板状接地極 ○垂直接地極 ○放射状接地極) ○B型 接地極 (○環状接地極 ○網状接地極)																																
設	●工事範囲	○配管 ●配線 ●機器取付																																
	●電気方式	高圧 三相3線式 6kV 低圧 ●三相3線式 200V ○単相3線式 100V / 200V ○三相3線式 V ○三相4線式 V / V																																
	●配電盤形式 (取設)	●屋内キュービクル式配電盤 ○屋外キュービクル式配電盤 ○開放形配電盤 ○高圧スイッチギア () ○変圧器盤 ○コンデンサ盤 ○低圧スイッチギア ○系統連系保護制御盤																																
	●変圧器の規格	変圧器の規格は次による。 ただし、スコット結線変圧器、モールド変圧器でH絶縁材料を使用するものは除く。																																
電	●油入変圧器	単相・三相 EM 1482・JIS C 4304 (グ)																																
	○モールド変圧器 (絶縁種別 F)	単相・三相 EM 1483・JIS C 4306 (グ)																																
	○監視方式	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視																																
	○基礎	○本工事 ○建築工事 ○取設																																
備	○付属品等	盤内に予備限流ヒューズを収納する。																																
	○その他	○低圧配電盤の配線用遮断器は取付け板組込形で埋込形とする。 ○低圧配電盤の裏面に負荷側引出し端子を設ける。 ○低圧配電盤に内部点検空間を設ける。(幅500mm以上・高さ1,800mm以上) ○充電標示器は、断路器の1次側の適切な場所に設ける。																																

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(和知中学校) 設計図				設計・監理	一般建築士事務所
NS SCALE SCALE				野中建築設計事務所	
電気設備工事特記仕様書				1級建築士第147931号 野中健一	
DWL	CK	NO. E-01	DATE 27-03	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	

動力制御盤リスト 分岐開閉器及び配管配線は参考とし、採用する機器メーカー推奨容量とすること。

盤名称 盤形式	幹線番号	幹線サイズ	電 気 方 式 主 幹 サ イ ズ	回 路 番 号	機 器 番 号	負 荷 名 称	容 量 消費電力 (KW)	相数電圧 (φ-V)	配 記 線 号 主 回 路	イ ン タ ロ ク 通 動	分 岐		配 線 サ イ ズ	配 管 サ イ ズ	制 御 盤			監 視 盤			特 記 備 考				
											M C B	E L B			発 停	表 示	状 態	満 減	水	発 停		表 示	状 態	満 減	水

空調用機器盤 屋外壁掛型	MAC1	EM-CET38sq-3C		MAC1		1階 空調用機器盤 M-AC-1-1.3	13.83	3-200	A																
	MAC2	EM-CET100sq-3C EM-IE 38sq		MAC2		1階 空調用機器盤 M-AC-1-2.4	47.60	3-200	A																
M-AC-1-1 屋外壁掛型	MAC1 分岐	EM-CET38sq-3C EM-IE 14sq		M1	ACP-1	3階 調理室 空調室外機	7.83	3-200	A			○ 3P 50/40	EM-CE8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31 (被覆付 F30)											
M-AC-1-2 屋外壁掛型	MAC2 分岐	EM-CET38sq-3C EM-IE 14sq		M1	ACP-2	1階 美術室 空調室外機	6.79	3-200	A			○ 3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
				M2	ACP-2	3階 普通教室(3A) 空調室外機	6.79	3-200	A			○ 3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
				M3	ACP-3	3階 図書室 空調室外機	6.00	3-200	A			○ 3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
				M4	ACP-4	2階 特別支援室1 空調室外機	3.70	3-200	A			○ 3P 50/20	EM-EEF2.0mm-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
				M5	ACP-4	2階 特別支援室2 空調室外機	3.70	3-200	A			○ 3P 50/20	EM-EEF2.0mm-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
M-AC-1-3 屋外壁掛型	MAC1 分岐	EM-CET38sq-3C EM-IE 14sq		M1	ACP-3	1階 被服室 空調室外機	6.00	3-200	A			○ 3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
M-AC-1-4 屋外壁掛型	MAC2 分岐	EM-CET38sq-3C EM-IE 14sq		M1	ACP-1	1階 理科室(第一) 空調室外機	7.83	3-200	A			○ 3P 50/40	EM-CE8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31 (被覆付 F30)											
				M2	ACP-2	3階 普通教室(3C) 空調室外機	6.79	3-200	A			○ 3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
				M3	ACP-3	2階 普通教室(1年) 空調室外機	6.00	3-200	A			○ 3P 50/30	EM-CE5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付 F24)											
M-AC-1-5 屋外壁掛型	既設LM-1 分岐	EM-CET14sq-3C EM-IE 5.5sq		M1	PAC-1	1階 クラフトルーム 空調室外機 (カルチャークリエーションセンター)	10.40	3-200	A			○ 3P 100/60	EM-CE8sq-3C EM-IE5.5sq	CP25 (被覆付 F24)											

動力制御盤リスト

主回路						制御回路											
A	直入	B	直入	C	直入始動	D	直入始動	E	スターデルタ	F	インバーター	a	遠方操作回路	b	連動回路等	c	液面制御警報回路

空調動力盤の仕様等は以下の通りとする

箱体は鋼板製とし、屋外用及び屋内用共、塗装色はメーカー標準色とする。

屋外型では、壁面支持用金具(図の通り)を設け、支持材等はステンレス製を使用する。

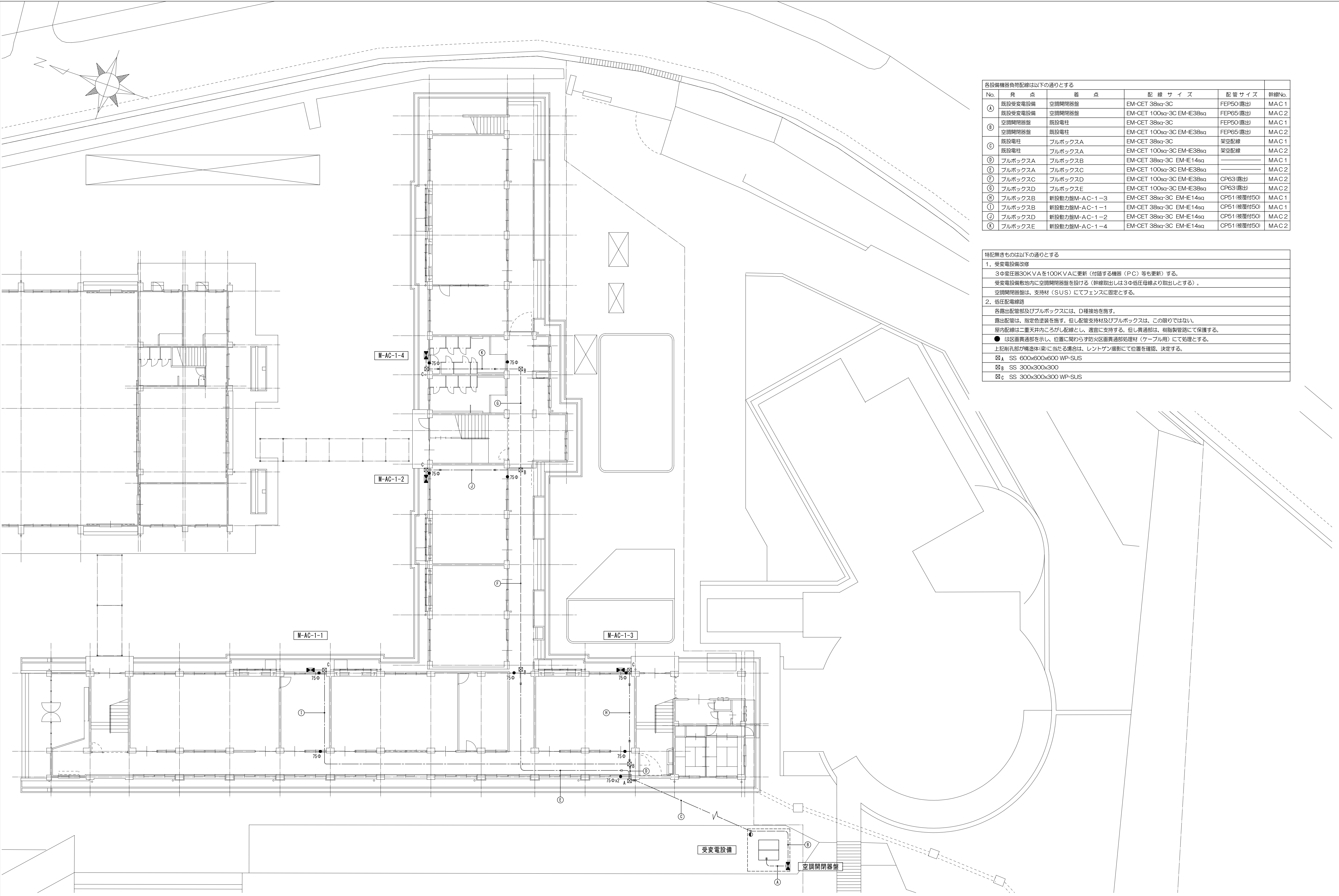
屋外用及び屋内用共に、支持材のボルト等は9mm以上とし、またメーカー推奨サイズにより、支持固定する。

箱体には、D種接地を施す。

分岐回路配線は、D種(ELB)接地を施す。

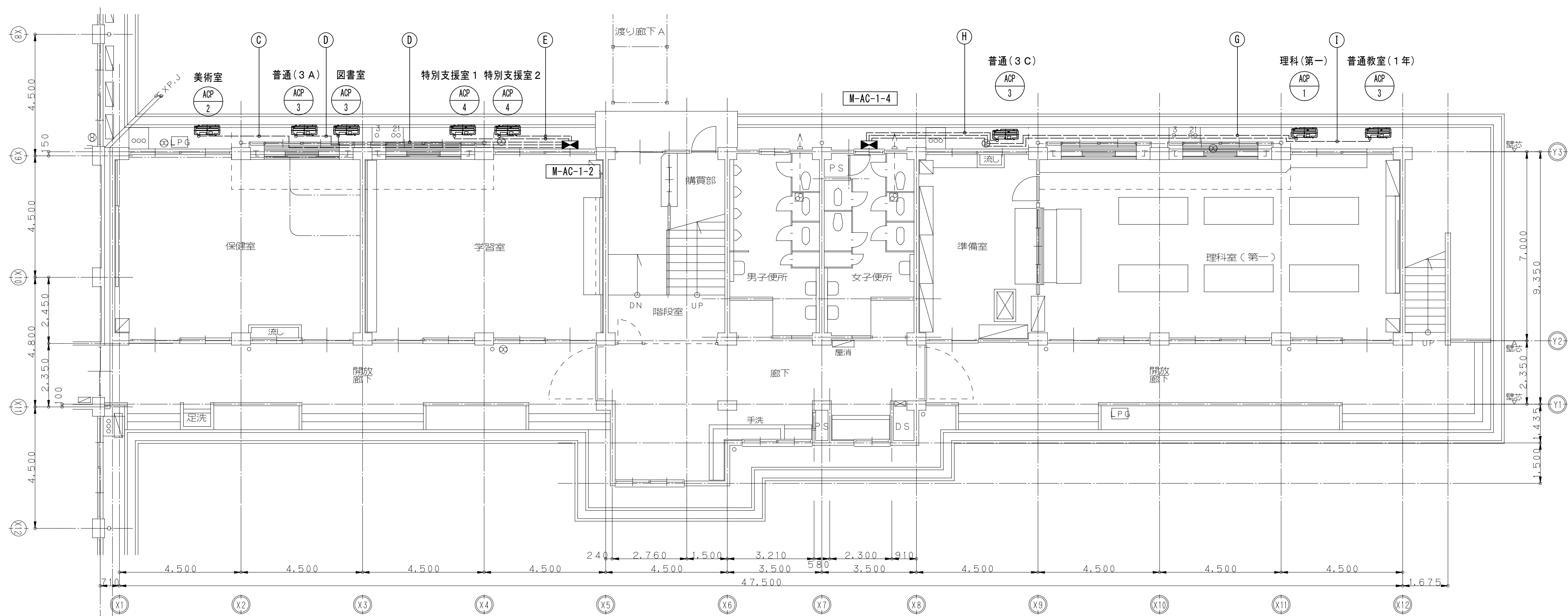
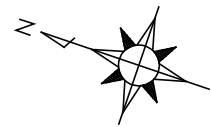
分岐開閉器及び配管配線は参考とし、採用する機器メーカー推奨容量とすること。

LF(4)



各設備機器負荷配線は以下の通りとする					
No.	発 点	着 点	配 線 サ イ ズ	配 管 サイズ	幹線No.
①	既設受変電設備	空調開閉器盤	EM-CET 38sq-3C	FEP50(露出)	MAC 1
	既設受変電設備	空調開閉器盤	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	FEP65(露出)	MAC 2
②	空調開閉器盤	既設電柱	EM-CET 38sq-3C	FEP50(露出)	MAC 1
	空調開閉器盤	既設電柱	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	FEP65(露出)	MAC 2
③	既設電柱	フルボックスA	EM-CET 38sq-3C	架空配線	MAC 1
	既設電柱	フルボックスA	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	架空配線	MAC 2
④	フルボックスA	フルボックスB	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	_____	MAC 1
⑤	フルボックスA	フルボックスC	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	_____	MAC 2
⑥	フルボックスC	フルボックスD	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	CP63(露出)	MAC 2
⑦	フルボックスD	フルボックスE	EM-CET 100sq-3C EM-IE38sq	CP63(露出)	MAC 2
⑧	フルボックスB	新設動力盤M-A-C-1-3	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	CP51(被覆付50)	MAC 1
⑨	フルボックスB	新設動力盤M-A-C-1-1	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	CP51(被覆付50)	MAC 1
⑩	フルボックスD	新設動力盤M-A-C-1-2	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	CP51(被覆付50)	MAC 2
⑪	フルボックスE	新設動力盤M-A-C-1-4	EM-CET 38sq-3C EM-IE14sq	CP51(被覆付50)	MAC 2

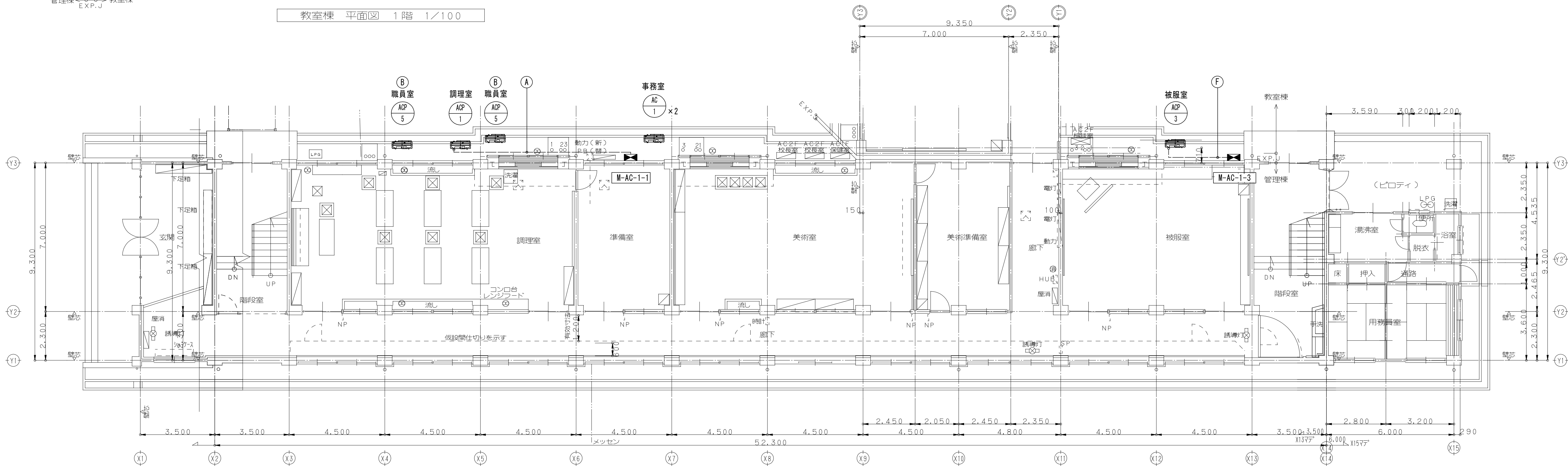
特記無きものは以下の通りとする	
1. 受変電設備改修	
3φ変圧器30KVAを100KVAに更新（付随する機器（P.C）等も更新）する。	
受変電設備敷地内に空調開閉器盤を設ける（幹線取出しは3φ低圧母線より取出しとする）。	
空調開閉器盤は、支持材（SUS）にてフェンスに固定とする。	
2. 低圧配電線路	
各露出配管部及びフルボックスには、D種接地を施す。	
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びフルボックスは、この限りではない。	
屋内配線は二重天井内こころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。	
● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。	
上配削孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。	
ⓧA	SS 600x600x600 WP-SUS
ⓧB	SS 300x300x300
ⓧC	SS 300x300x300 WP-SUS



教室棟 平面図 1階 1/100

No.	発 点	着 点	配 線 サ イ ズ	配 管 サ イ ズ
①	新設動力盤 M-AC-1-1	空調室外機 ACP-1	EM-CE 8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31 (被覆付30)
②	既設動力盤 M-1	空調室外機 ACP-5	既設配線再使用	
③	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-2	EM-CE 5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付24)
④	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-3	EM-CE 5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付24)
⑤	新設動力盤 M-AC-1-2	空調室外機 ACP-4	EM-EEF2.0mm-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付24)
⑥	新設動力盤 M-AC-1-3	空調室外機 ACP-3	EM-CE 5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付24)
⑦	新設動力盤 M-AC-1-4	空調室外機 ACP-1	EM-CE 8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31 (被覆付30)
⑧	新設動力盤 M-AC-1-4	空調室外機 ACP-2	EM-CE 5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付24)
⑨	新設動力盤 M-AC-1-4	空調室外機 ACP-3	EM-CE 5.5sq-3C EM-IE2.0mm	CP25 (被覆付24)

特記無きものは以下の通りとする
屋外金属配管は、指定色にて塗装を施す。但しブルボックス及び支持材は、この限りではない。
既設配管配線再使用機器の室外機位置変更のうち、軽微な変更は本工事内とする。



管理棟 平面図 1階 1/100

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図

1:100 SCALE SCALE

教室棟・管理棟 空調・換気設備 1階平面図

DW. CK. NO. E-04 DATE 27-03

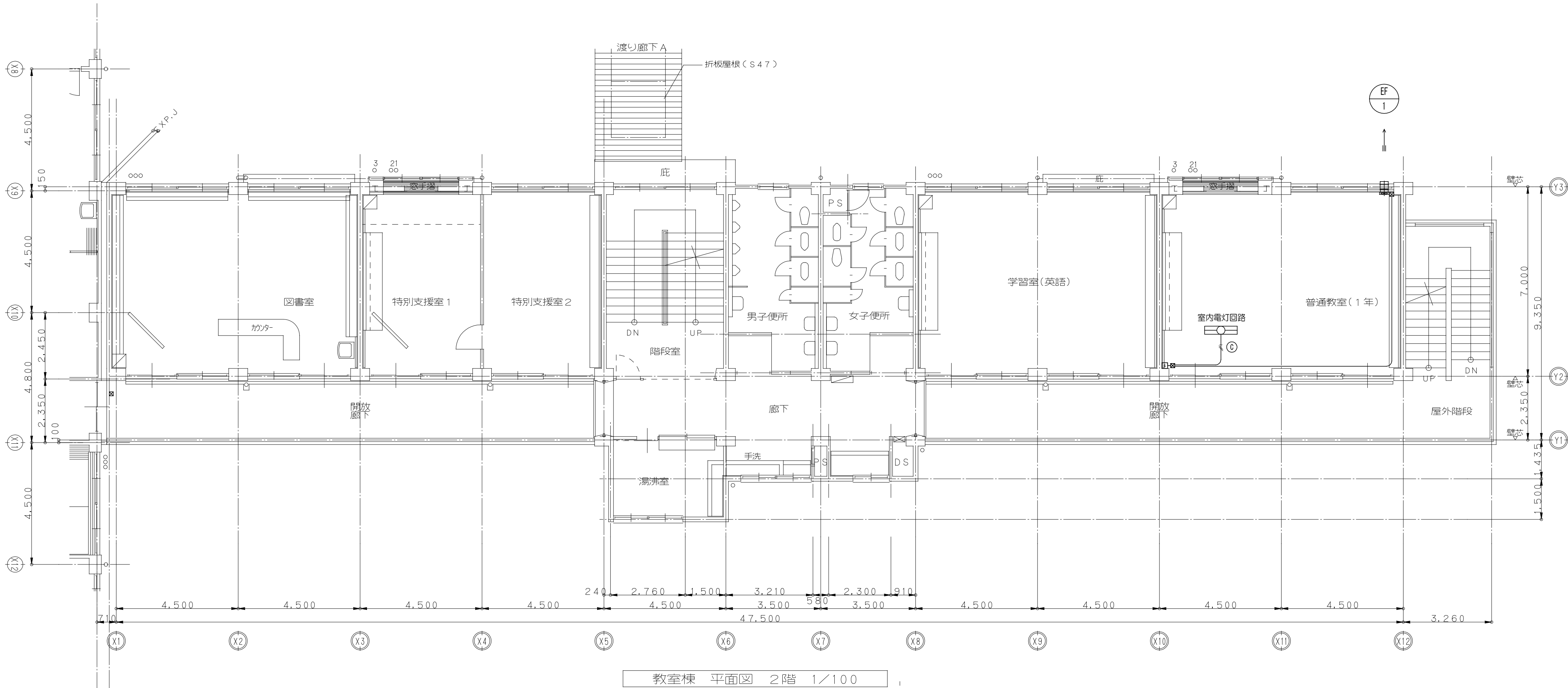
設計・監理 一般建築士事務所

野中建築設計事務所

1級建築士第147931号 野中健一

〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20

TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408



各設備機器負荷配線は以下の通りとする				
No.	発 点	番 点	配 線 サ イ ズ	配 管 サイズ
①	既設動力盤 L-2	空調室外機 AC-1	既設配線再使用	
②	既設動力盤 M-1	空調室外機 ACP-1	既設配線再使用	
③	室内電灯回路	換気扇電源	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	
④	既設電灯盤 L-2	空調機リモコン	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	

特記なきものは以下の通りとする

屋外金属配管は、指定色にて塗装を施す。但し既設管路、ブルボックス及び支持材は、この限りではない。

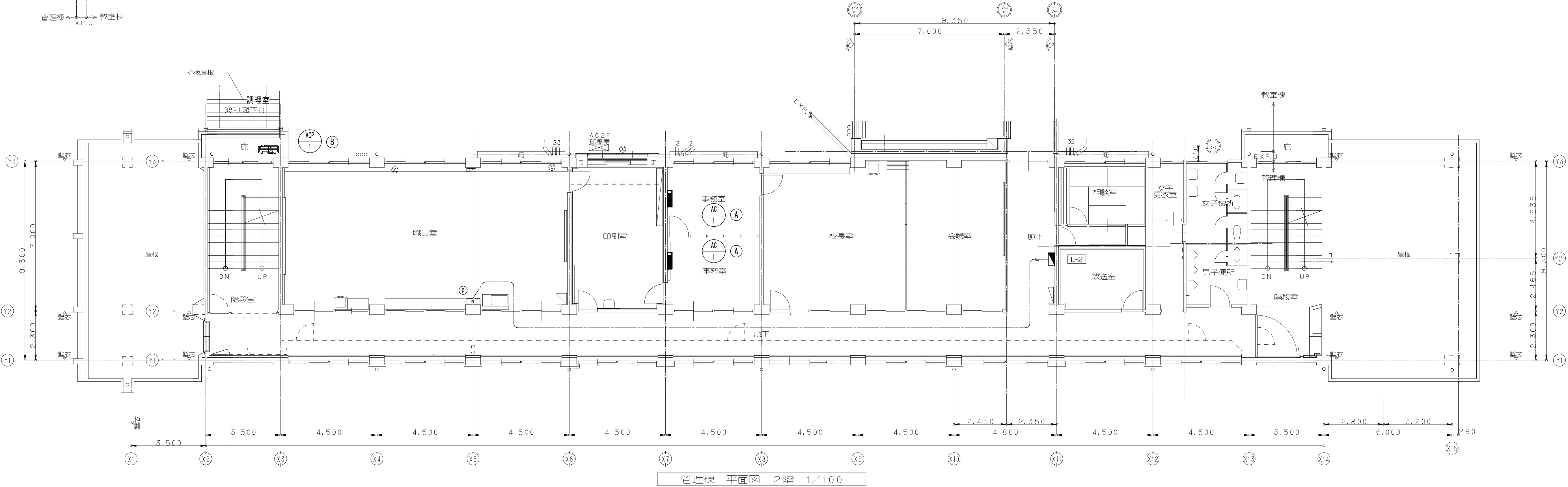
壁掛型空調室内機の電源コンセントは、埋込 I 形とし、配線は 1 種金属せんび(MM1)にて保護とする。

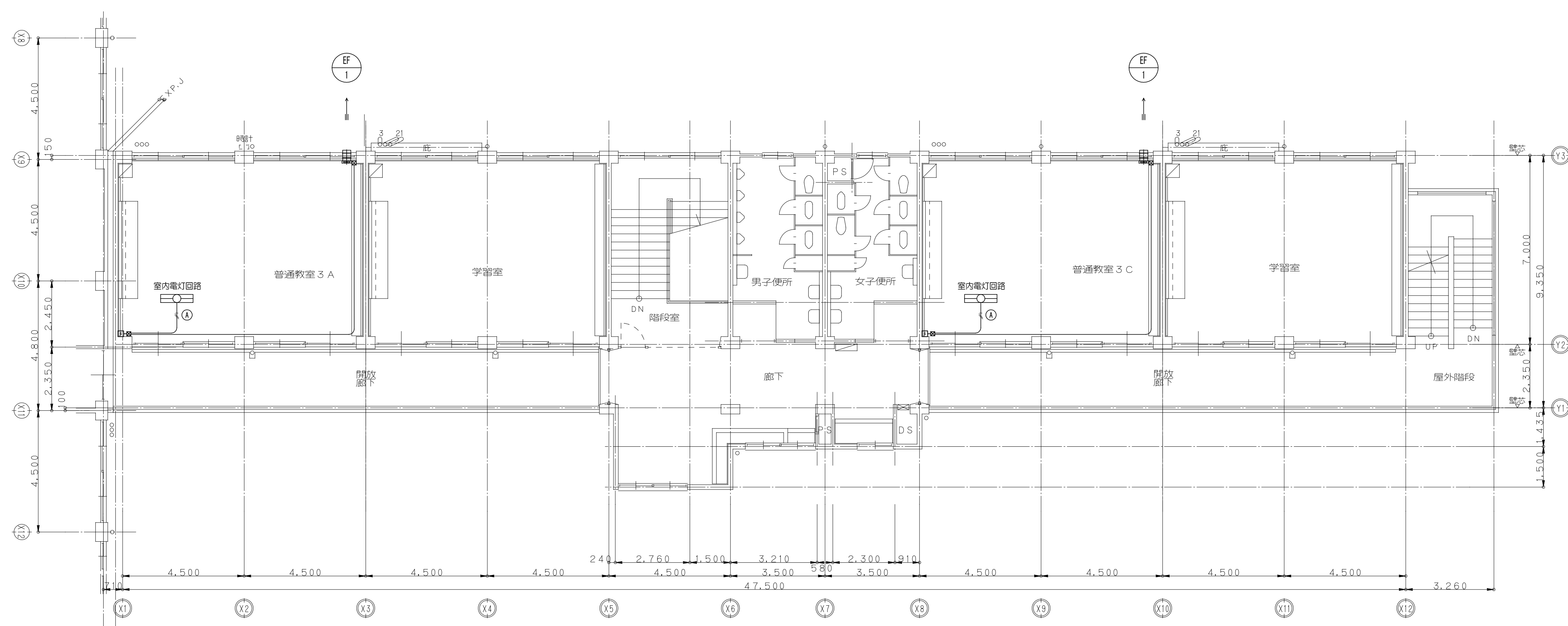
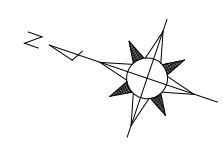
換気扇スイッチは機械設備工事支給品とし、換気扇及びスイッチ配線は 1 種金属せんび(MM1)にて保護とする。

既設電灯盤 L-2 内に、2P 20A 開閉器を 1 回路増設する(内藤改修不要、表示要)。

換気扇及び換気扇スイッチへの分岐配線は、EM-EEF1.6-2C x 2 とする。

換気扇及び空調室内機電源は、樹脂製ボックス ☒ を設けて分岐とする。

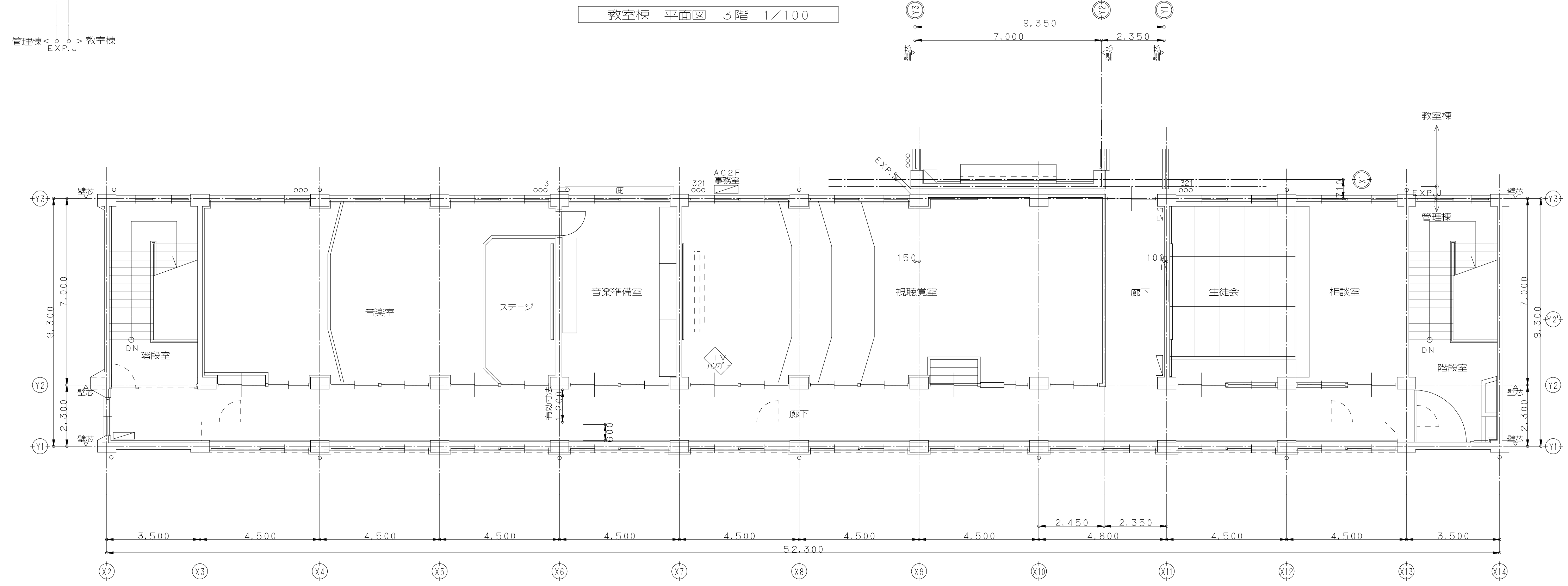




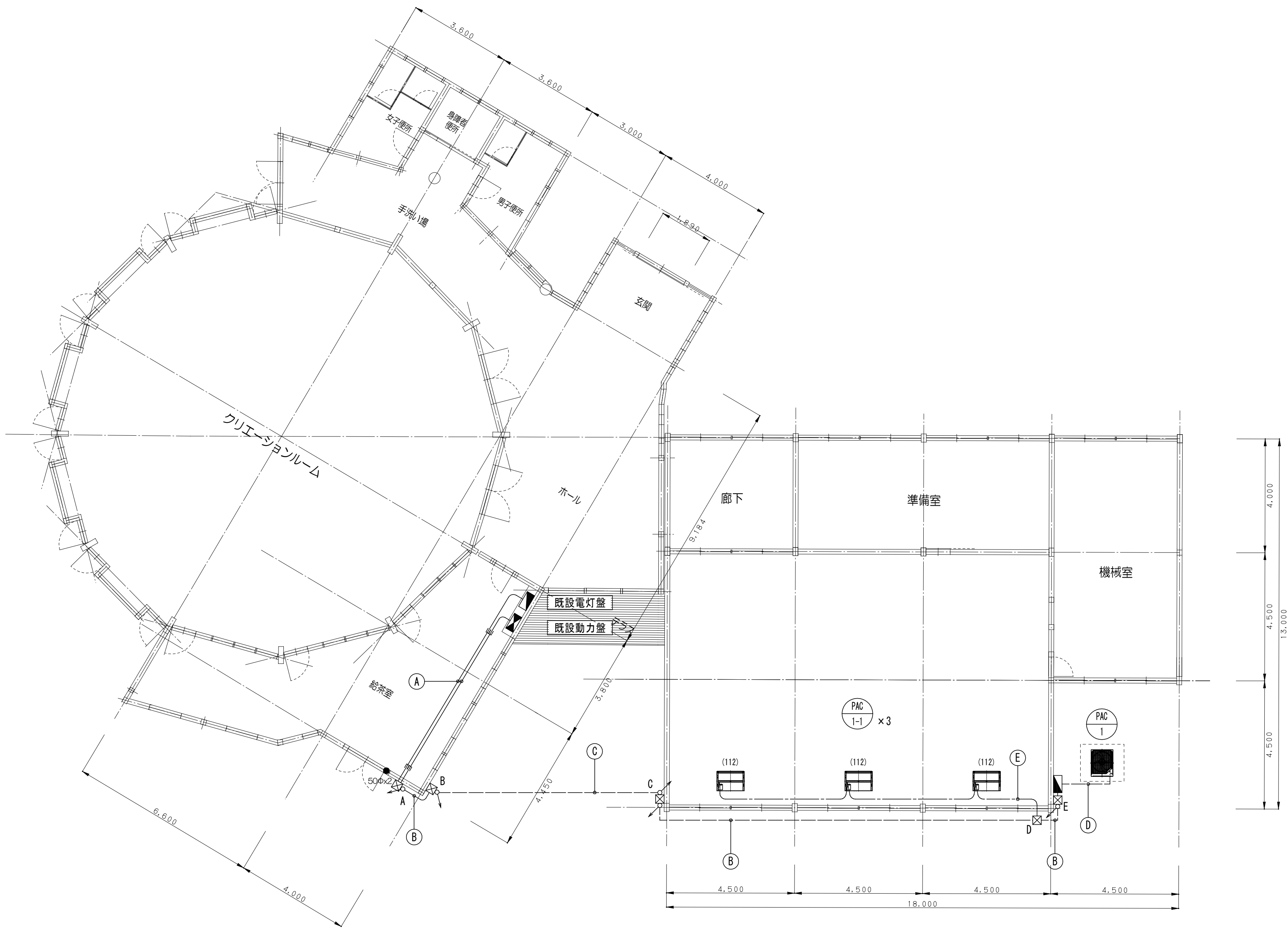
教室棟 平面図 3階 1/100

各設備機器負荷配線は以下の通りとする				
No.	発 点	着 点	配 線 サ イ ズ	配 管 サ イ ズ
④	室内電灯回路	換気扇電源	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	

特記無きものは以下の通りとする
換気扇スイッチは機械設備工事支給品とし、換気扇及びスイッチ配線は1種金属せんび(MM1)にて保護とする。
換気扇及び換気扇スイッチへの分岐配線は、EM-EEF1.6-2C x 2とする。
換気扇及び空調室内機電源は、樹脂製ボックス Ⅹ を設けて分岐とする。



管理棟 平面図 3階 1/100



各設備機器負荷配線は以下の通りとする				
No.	発 点	着 点	配 線 サ イ ズ	配 管 サ イ ズ
①	既設動力盤	新設動力盤M-AC-4	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	
	既設電灯盤	PAC-1-1空調室内機	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	
②	既設動力盤	新設動力盤M-AC-4	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	CP31 (被覆付30)
	既設電灯盤	PAC-1-1空調室内機	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	CP25 (被覆付24)
③	既設動力盤	新設動力盤M-AC-4	EM-CET 14sq-3C EM-IE5.5sq	FEP30
	既設電灯盤	PAC-1-1空調室内機	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	FEP30
④	新設動力盤M-AC-4	新設動力盤M-AC-4	EM-CE 8sq-3C EM-IE2.0mm	CP31 (被覆付30)
⑤	既設電灯盤	PAC-1-1空調室内機	EM-EEF2.0mm-3C (1CE)	

特記無きものは以下の通りとする

PAC-1室外機電源は、既設動力盤より開閉器（3P60A）増設にて取出しとする。

PAC-1-1室内機電源は、既設電灯盤より開閉器（2P20A）増設にて取出しとする。

屋外金属配管は、指定色にて塗装を施す。但しプルボックス及び支持材は、この限りではない。

屋外金属配管には、D種接地を施す。

室内機電源は、プルボックスDより室内機送り配線を、冷媒・ドレン配管に共巻きとする。。

給茶室二重天井内は、ケーブルこころし配線とし、適宜に支持する。

☒ A～E SS 200 x200 x200 WP-SUS

● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。

上記制孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。

機械設備工事特記仕様書

【工事概要】

1 工事場所 京丹波町市場ルヶ野4番地

2 建物概要

建 物 名	構 造	階 数	延床面積（㎡）	消防法令別表第一	備 考
和府中学校	RC	3			

3 工事科目

●印をついたものを適用し、各一式とする。

工事科目	建物名称	和府中学校		
空気調和設備	●		○	○
換気設備	●		○	○
排煙設備			○	○
自動制御設備	○		○	○
衛生器具設備	○		○	○
給水設備	○		○	○
排水設備	○		○	○
給湯設備	○		○	○
消火設備	○		○	○
ガス設備	○		○	○
浄化槽設備	○		○	○
医療ガス設備工事	○		○	○
撤去工事	○		○	○
	○		○	○

【特記事項】

1 一般事項

1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成25年版」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成25年版（以下「標準図」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成25年版」による。

2）工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合、その仕様は当該図面及び標準仕様書による。

2 特記事項

項目及び特記事項は、●印をついたものを本工事に適用する。ただし、●印のない場合は、※印を適用する。

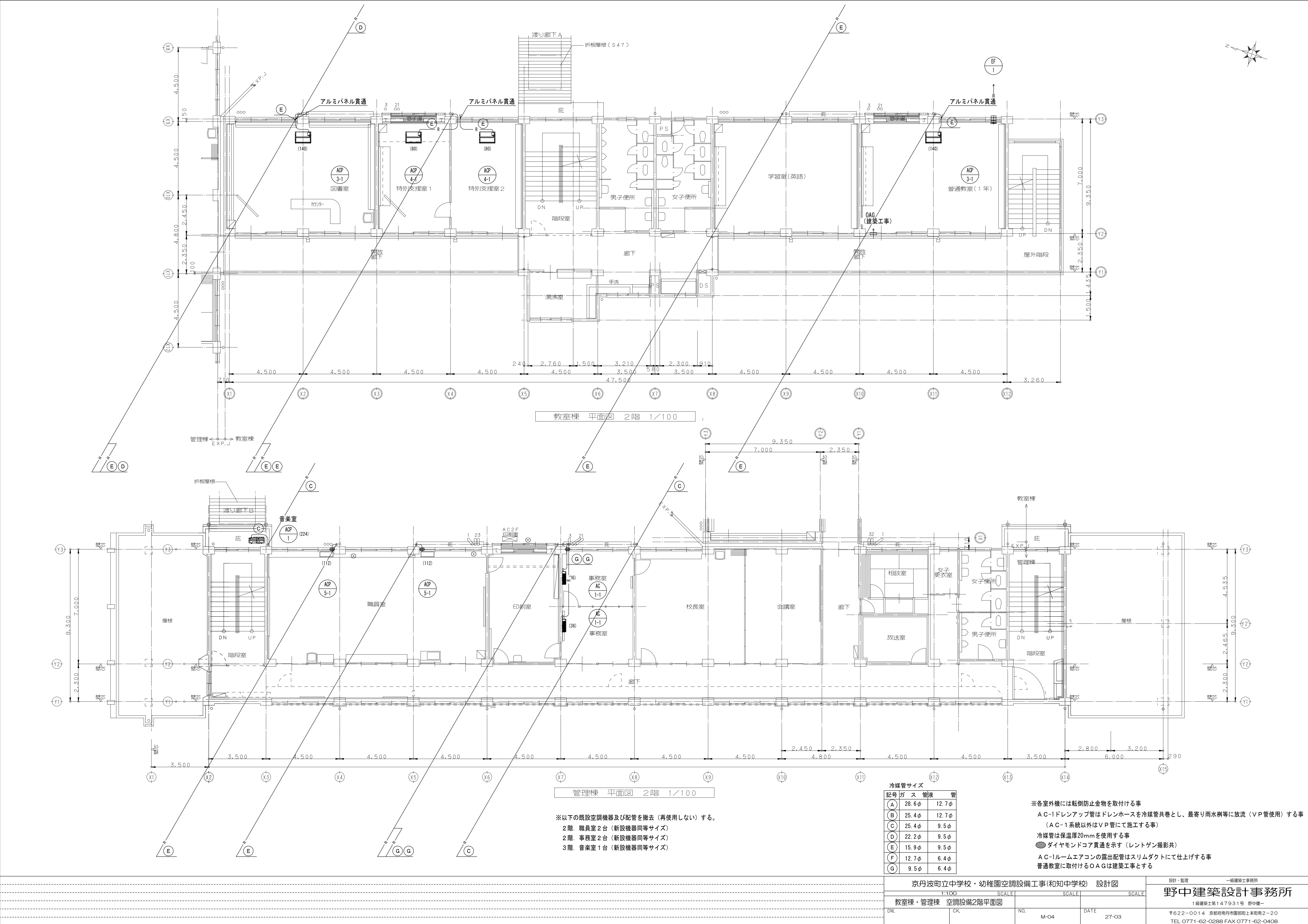
章	項 目	特 記 事 項
Ⅰ 設 備 事 項	●設備機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するものまたは、これらと同等のものとす る。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、〔グ〕印は「京都府庁グリーン調達方針 ◆」（以下、「グリーン調達」という。） の特定調達品目を示す。 ◆京都府ホームページ参照 <http://www.pref.kyoto.jp/zaisan/kankyo.html>
	●機材の承諾	機材の承諾に際しては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課営繕技術管理室監 修の機械設備工事承諾図様式集（平成26年版）によるものとする。
	●機材の品質 ・性能証明	使用する機材が、（財）公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評 価事業 設備機材等評価名簿（平成26年版）」による場合は、評価書の写しをもって、標準 仕様書第1編第1章第4節1．4．2（c）の品質及び性能を有することの証明となる資料の 提出を省略することができる。 ただし、標準仕様書に規定される製作図・試験成績書等は除く。
	●グリーン調達適合品 の確認	グリーン調達適合品の証明を監督職員に提出する。 ●空調機 ○ ○
	●現場代理人	本工事の施工に当たっては、請負契約書第10条に基づく現場代理人は、主任技術者又は監 理技術者と同様請負者との直接的かつ恒常的な雇用関係のある者を選任する。
	○電気保安技術者	※適用する ○適用しない
	●技能士	●配管（配管工事） ●建築板金（ダクト製作及び取付け） ●熱絶縁施工（保温工事） ○冷凍空気調和機器施工（リリゲエ工、パッケージ空気調和機の据付及び整備）
	●工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力・水などの費用は、引き渡し時まですべて請負者の負担とする。
	○官公署への手続き	官公署等への手続きは速やかに行い、それに要する費用は、すべて請負者の負担とする。
	○工事用仮設物	構内につくることが ※できる ○できない
Ⅱ 設 計 事 項	●足場・さん橋類	別契約の関係者、請負者が定置したものは、無償で使用できる。
	○監督職員事務所	※設置しない ○設置する（○本工事 ○別途）
	●監督職員事務所 に備え付ける図書	下記の図書を監督職員事務所に備え付ける。 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） ・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） ・機械設備工事監理設計 ・機械設備工事施工チェックシート ・建築設備耐震設計施工指針 ・工事写真の撮り方（改訂2版）－建築設備編－ ・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）
	○建設副産物の処理 及び建設発生土の処理	○引き渡しを要するもの【 】 ○再生資源利用を図るもの【 】 ○特別管理産業廃棄物 ○P C B使用機器 ○S F 6ガス使用機器 ○
		○建設発生土の処理 ※構外搬出適切な処理 ○構外指定地に搬出処理 【 】 ○構内指示場所に敷き均しく（不良土は構外適切な処理）
	○再生資源利用促進 計画書等の作成・提出	建設副産物において、発生量の多少に係わらず、再生資源利用 促進計画書（建設副産物対策近畿地方連絡協議会）について、施 工計画書に含めて提出する。 また、実績については再生資源利用促進計画書として提出する。
	1）「建設副産物等処理計画書」、「建設発生土処理計画書」を監督職員に提出する。	
	2）関係法令等に従い、適正に廃棄物等処理し、「建設副産物等処理報告書」、「建設発生土処理 報告書」により監督職員に報告する。	
	○アスベスト 成形板の処理等 施工調査	アスベスト成形板の撤去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項 について行う。調査結果は図面より記録し監督職員に提出する。 ・アスベスト 成形板使用部位の確認 ・アスベスト 成形板の種別、厚さ等の確認 ・アスベスト 成形板使用数量の確認 ・施工範囲等の確認
	確認範囲	※成形板の製造年等の確認 ○X線解析法
	処理方法	※非分散性アスベスト 廃棄物の取扱いに関する技術指針」に従いあらかじめ 処理計画書を作成し、適切に解体処分等を行うこと。

項 目		特 記 事 項																																				
Ⅰ 設 備 事 項	●工事関係書類	提出書類一覧表より提出。																																				
	○履行報告	月報 ※2部 ○3部 毎月20日までのものを25日までに提出する。																																				
	●工事写真	1) 建設大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方(改訂2版)－建築設備編－」による。 2) 工事完成時、整理の上、1部提出する。 3) デジタルカメラで撮影可とする。																																				
	●完成図書	<table><tr><th>名 称</th><th>内 容</th><th>大きさ</th><th>部 数</th></tr><tr><td>○完成図</td><td>金文字製本</td><td>A4版</td><td>1部</td></tr><tr><td>○完成図</td><td>○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め</td><td></td><td>2部</td></tr><tr><td>○施工図</td><td>○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め</td><td></td><td>2部</td></tr><tr><td>○機器完成図等</td><td>機器製作図 ファイル止め 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書</td><td>A4版</td><td>2部</td></tr><tr><td>○諸官庁提出書類</td><td>副 本</td><td></td><td>1式</td></tr><tr><td>●原図</td><td>完成図・施工図</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td>●完成写真</td><td>アルバム綴り</td><td></td><td>1部</td></tr><tr><td colspan="4">電子納品については、現場説明事項書による。</td></tr></table>	名 称	内 容	大きさ	部 数	○完成図	金文字製本	A4版	1部	○完成図	○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め		2部	○施工図	○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め		2部	○機器完成図等	機器製作図 ファイル止め 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書	A4版	2部	○諸官庁提出書類	副 本		1式	●原図	完成図・施工図		1部	●完成写真	アルバム綴り		1部	電子納品については、現場説明事項書による。			
	名 称	内 容	大きさ	部 数																																		
	○完成図	金文字製本	A4版	1部																																		
	○完成図	○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め		2部																																		
	○施工図	○背貼り製本(版) ○A4ファイル止め		2部																																		
	○機器完成図等	機器製作図 ファイル止め 保守指導案内書(機器取説書を含む) 機器性能試験成績書・保証書・施工の試験成績書	A4版	2部																																		
	○諸官庁提出書類	副 本		1式																																		
●原図	完成図・施工図		1部																																			
●完成写真	アルバム綴り		1部																																			
電子納品については、現場説明事項書による。																																						
●著作権等	当該建物において取得する、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。																																					
●付属品及び予備品	標準仕様書によるほか、別表1による。																																					
●総合調整 (測定結果は報告書にて提出)	●風量調整(測定共) ●水量調整(測定共) ●室内外空気の温湿度測定 ○室内気流及びじんあいの測定 ●騒音の測定 ○飲料水の水质の測定 ●機器等の運転状態の記録及び測定結果																																					
●耐震施工	1) 設備機器の固定は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」による。 2) 下記の設計用水平震度(KH)により、機器製作固定を行う。 <table><tr><th rowspan="2">設 置 場 所</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">●一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0(2.0)</td><td>1.5(2.0)</td><td>1.5(2.0)</td><td>1.0(1.5)</td></tr><tr><td>中 間 階</td><td>1.5(1.5)</td><td>1.0(1.5)</td><td>1.0(1.5)</td><td>0.6(1.0)</td></tr><tr><td>1階及び地下階</td><td>1.0(1.0)</td><td>0.6(1.0)</td><td>0.6(1.0)</td><td>0.4(0.6)</td></tr></table>			設 置 場 所	○特定の施設		●一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)	中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)	1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)											
設 置 場 所	○特定の施設		●一般の施設																																			
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																		
上層階、屋上及び塔屋	2.0(2.0)	1.5(2.0)	1.5(2.0)	1.0(1.5)																																		
中 間 階	1.5(1.5)	1.0(1.5)	1.0(1.5)	0.6(1.0)																																		
1階及び地下階	1.0(1.0)	0.6(1.0)	0.6(1.0)	0.4(0.6)																																		
	<table><tr><th rowspan="2">設 置 場 所</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">○一般の施設</th></tr><tr><th>水 槽</th><th></th><th>水 槽</th><th></th></tr><tr><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2.0</td><td></td><td>1.5</td><td></td></tr><tr><td>中 間 階</td><td>1.5</td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr><tr><td>1階及び地下階</td><td>1.5</td><td></td><td>1.0</td><td></td></tr></table>			設 置 場 所	○特定の施設		○一般の施設		水 槽		水 槽		上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5		中 間 階	1.5		1.0		1階及び地下階	1.5		1.0												
設 置 場 所	○特定の施設		○一般の施設																																			
	水 槽		水 槽																																			
上層階、屋上及び塔屋	2.0		1.5																																			
中 間 階	1.5		1.0																																			
1階及び地下階	1.5		1.0																																			
	注1 ()内の数値は、防震支持の機器の場合に適用する。 注2 設計用鉛直震度は、設計用水平震度の1/2とする。 注3 上層階の定義は、6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上階2階。 注4 重要機器(水槽類)は、下記に示すものとする。(水槽類にはオイルタンク等を含む。)																																					
○一般用弁	標準仕様書第2編2.2.1(1)～(11)によるほか、下記による。 1) 水道直結部及び図面特記部の耐圧はJIS又はJV10K、その他はJIS又はJV5Kとする。 2) 給水・給湯用の青銅製弁は、給水用青銅弁を使用する。																																					
○フレキシブルジョイント	機器廻りに取付けるフレキシブルジョイントは、鋼板に対してはへこうS形、FRPに対しては合成ゴム製とする。																																					
○伸縮管継手 (銅管用)	銅管用伸縮管継手は下記による。 ※へこうS形 ○スリブ形																																					
○溶接接合	溶接部の非破壊検査は、 ※適用しない ○適用する(○放射線透過検査 ○浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)																																					
○地中埋設機及び 埋設表示用テープ	1) 給水管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 2) 消火管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 3) ガス管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 4) 油 管 地中埋設機(※要 ○不要) 埋設表示用テープ(※要 ○不要) 用途表示のあるテープ(幅は150mm以上)で、2倍長以上重ね合わせで使用する。																																					
○防食処理	土中埋設の排水用埋設ライニング銅管は、防食処理を行う。																																					
●保温	1) 保温材の使用は、下記による。 <table><tr><td>給水管・排水管</td><td>※ポリスチレンフォーム保温材</td><td>○</td></tr><tr><td>排煙ダクト・煙道、排気筒</td><td>※ロックウール保温材</td><td>○</td></tr><tr><td>その他</td><td>※グラスウール保温材</td><td>○</td></tr></table>			給水管・排水管	※ポリスチレンフォーム保温材	○	排煙ダクト・煙道、排気筒	※ロックウール保温材	○	その他	※グラスウール保温材	○																										
給水管・排水管	※ポリスチレンフォーム保温材	○																																				
排煙ダクト・煙道、排気筒	※ロックウール保温材	○																																				
その他	※グラスウール保温材	○																																				
	2) 膨張管及び膨張水槽からの補給水管の保温は、冷水管に準ずる。 3) 保温を施す膨張水槽等の蓋の保温 ※必要 ○不要 4) 空気抜管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。また、保温を行う範囲は空気抜弁までとする。 5) 弁、ストレーナ等の金属製カバー外装種別は、下記による。 ・屋内 ※カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板 ・屋外 ○カラー亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板 ○アルミニウム板 6) 車庫内のダクト及び配管の保温は、機械室による。 7) 合成樹脂製支持受 ※硬質ウレタンフォームに準ずるもの ○ビーズ法ポリスチレンフォームに準ずるもの																																					
○塗装	機械室・電気室内の塗装は ※行う ○行わない																																					
○エポキシ樹脂コーティング及びライニング	エポキシ樹脂コーティング及びライニングの乾燥方法は下記による。 ※加熱乾燥 ○常温乾燥																																					
○ボックス	P F管で配管する場合は、樹脂製ボックスを使用する。																																					
○容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。ただし、電動機の出力量、燃料消費量及び圧力損失は、表示された数値以下とする。																																					
●はつり	1) 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターを使用する。 2) 復旧はモルタル補修までとする。																																					
○防煙ダンパー及び 防火防煙ダンパー	復旧方式は ※遠方復旧式 (電気式(定格入力 DC24V 0.6A以下)) ○手動復旧式																																					
○消音内貼	ダクト及びチャンバー、消音工ルボの内張り(箇所図示)は下記による。 ・消音内貼り部分の外部保温は ※不要 ○必要 ・チャンバーの寸法は、外形寸法を示す。 (ただし、ダクト及び消音工ルボは、内形寸法を示す。) ・点検口は内貼り仕様又は断熱戸とする。																																					
○ドレン抜き	外壁に面するガレリに直接取付けけるチャンバー類に必要に応じ設ける。																																					
○取付枠	防火区画部に取付ける吹出口、吸入口等で取付枠を必要とするものは鋼枠を使用する。																																					

章	項 目	特 記 事 項
Ⅰ 設 備 事 項	●機器の基礎	アンカーボルト及びナットは、下記による。 ・屋外、多湿室等 （※溶融亜鉛メッキ ●SUS ） ・その他 （※一般品 ○ ） ○機器側の材質がSUS製の場合は、SUS製とする。
	○防火区画	○平面階 ○図示 ○
	○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図などを画いた掲示板を設ける。
	○天井仕上区分	（ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。
	○給油設備	地下オイルタンク ○設ける ○設けない 連隔油量指示計 ○設ける ○設けない オイルサービスタンク 油面計 ※ゲージ式 ○ガラス管式 油面制御装置の機能は下記による。 ○給油ポンプの起動、停止制御用 ○返油ポンプの起動、停止制御用 ○満油警報 ○連隔警報（○減油 ○満減油） 油管（露出、トラフ内） ※配管用炭素鋼管（黒） ○ 油管（地中） ※ポリエチレン被覆鋼管 ○
	○建物導入部配管 （排気及び通気を除く）	○標準図 施工4（a）（フキガシジョイントを使用） ○標準図 施工5（b）（ｶﾞｰｼﾞｵｲﾝﾄを使用） ○標準図 施工5（c）（ﾘｰﾌｴｰｼｵﾝを使用）
	○鋼材	屋外部分 ○溶融亜鉛めっき（※2種35 ○2種50） ○ステンレス鋼製（SUS304）
	●主方式	○全空気方式（○中央 ○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式 ●個別方式 ○
	○主要熱源機器	○ボイラー ○温水発生機 ○コージェネレーション装置 ○氷蓄熱ユニット ○冷凍機（ ●空冷ヒートポンプエアコン
Ⅱ 設 計 事 項	○設計時の温湿度条件	場 所 屋 外 屋内（調整目標値） 時 期 温度（DB） 湿度（RH） 温度（DB） 湿度（RH） 温度（DB） 湿度（RH） 冬 期 ℃ % ℃ % ℃ % 夏 期 ℃ % ℃ % ℃ %
	○長方形ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法（○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法）
	○ダクトの分岐方法	○割込み工法 ○直付け工法
	●配管材料 （図面特記部分は除く）	冷水管 ※配管用炭素鋼管（白） ○ 冷却水管 ※配管用炭素鋼管（白） ○塩ビライニング銅管（SGP-V A、SGP-F V A） ○ 空調用排水管 ※配管用炭素鋼管（白）（Oねじ接合 OMDジョイントによる接合） ○水配管用亜鉛めっき鋼管 ●硬質ポリエチレン管（VP） 蒸気配管 給気管 ※配管用炭素鋼管（黒） ○ 還 管 ※圧力配管用炭素鋼管（黒） ○ 補給水管 ※配管用炭素鋼管（白） ○ 膨張管 ※配管用炭素鋼管（白） ○ エア抜き管 ※配管用炭素鋼管（白） ○ 冷媒管 ○銅管 ●断熱材被覆銅管 ●空気調和機の2次側配管配線の仕様は製造者の標準仕様とする。
	○温度計	○工業用バイメタル式温度計 ○ガラス製棒状温度計 ○ガラス製二重管温度計
	○定風量ユニット 変風量ユニット	○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ
	○ファンコイルユニット	風量分配ダクトは ○亜鉛鉄板製 ○自己消火性のポリスチレンフォームなど ﾊﾋﾞﾄ形ｶﾞﾗｽｲﾝﾌｵｰﾑ
	○バーナー制御方式	○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御
	○電動機盤	○進相コンデンサー（○要 ※不要）
	○排熱投入形再生器	直置き吸収冷温水機に（○要する。 ※不要である。）

Ⅲ 設 計 事 項	京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(和知中学校) 設計図				設計・監理		一般建築士事務所
	NS SCALE SCALE				野中建築設計事務所		1級建築士第147931号 野中
	機械設備工事特記仕様書						
	D/W	C/K	N/O	M-O1	DATE	27-03	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本郷 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0289

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事(和知中学校) 設計図				設計・監理 一般建築士事務所	
NS SCALE				SCALE	
機械設備工事特記仕様書				野中建築設計事務所	
				1級建築士第147931号 野中隆一	
DW.	CK	NO.	M-01	DATE	27-03
				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



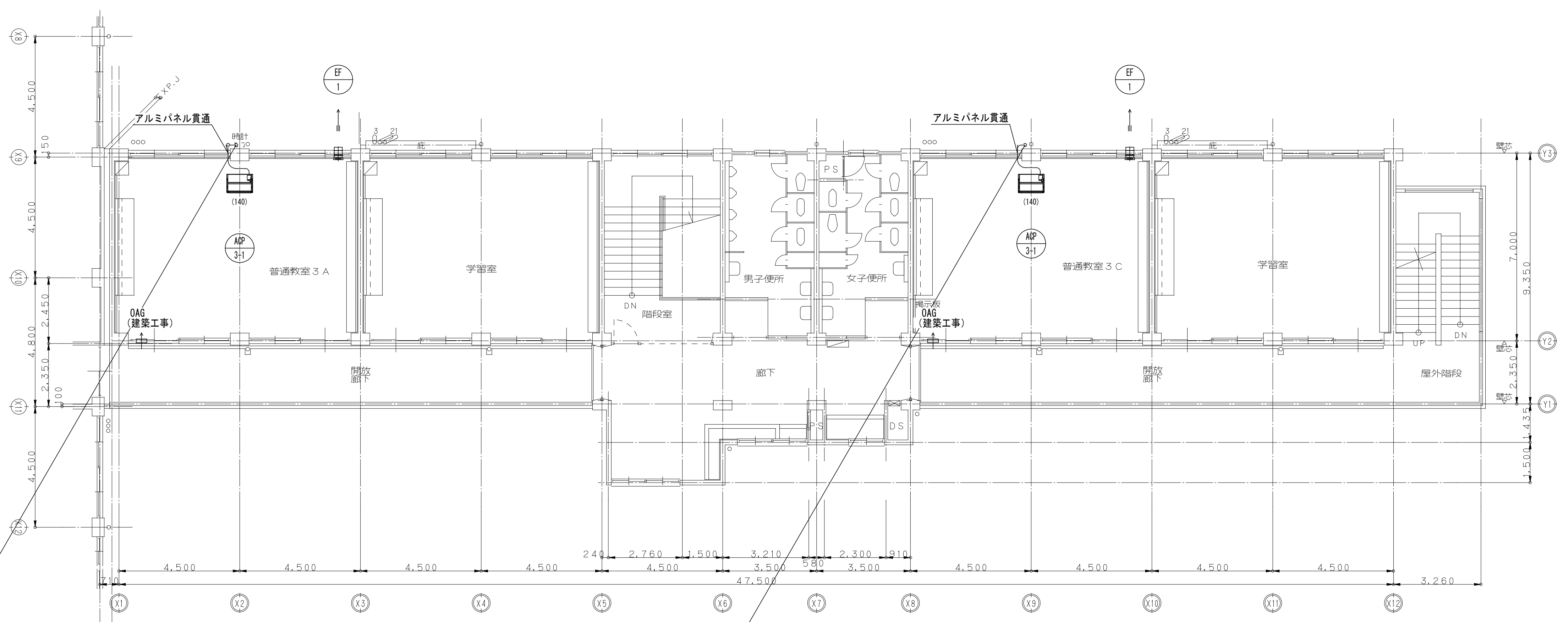
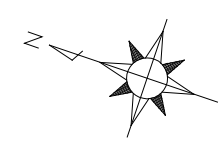
教室棟 平面図 2階 1/100

管理棟 平面図 2階 1/100

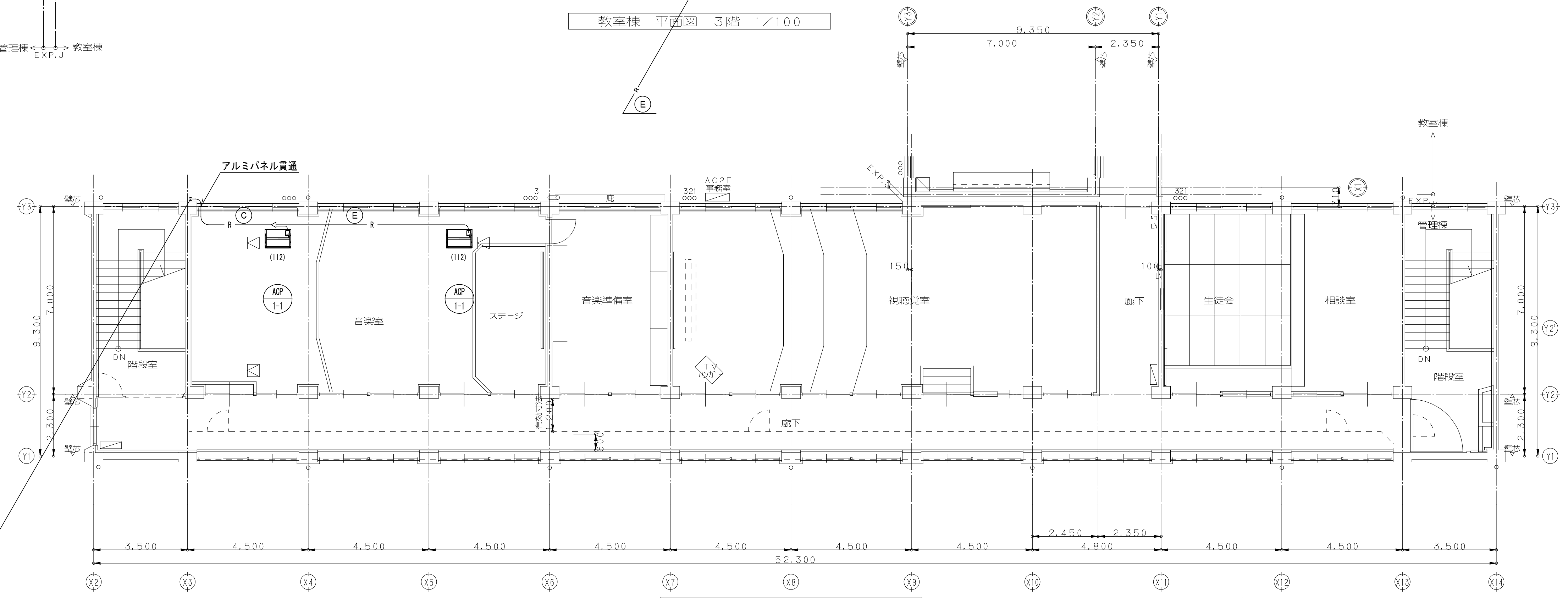
※以下の既設空調機器及び配管を撤去（再使用しない）する。
2階．職員室2台（新設機器同等サイズ）
2階．事務室2台（新設機器同等サイズ）
3階．音楽室1台（新設機器同等サイズ）

冷媒管サイズ			
記号	ガス	管液	管
(A)	28.6φ	12.7φ	
(B)	25.4φ	12.7φ	
(C)	25.4φ	9.5φ	
(D)	22.2φ	9.5φ	
(E)	15.9φ	9.5φ	
(F)	12.7φ	6.4φ	
(G)	9.5φ	6.4φ	

※各室外機には転倒防止金物を取付ける事
A C-1ドレンアップ管はドレンホースを冷媒管共巻とし、最寄り雨水側等に放流（V P管使用）する事
（A C-1系統以外はV P管にて施工する事）
冷媒管は保温厚20mmを使用する事
●ダイヤモンドコア貫通を示す（レントゲン撮影共）
A C-1ルームエアコンの露出配管はスリムダクトにて仕上げる事
普通教室に取付けるO A Gは建築工事とする



教室棟 平面図 3階 1/100

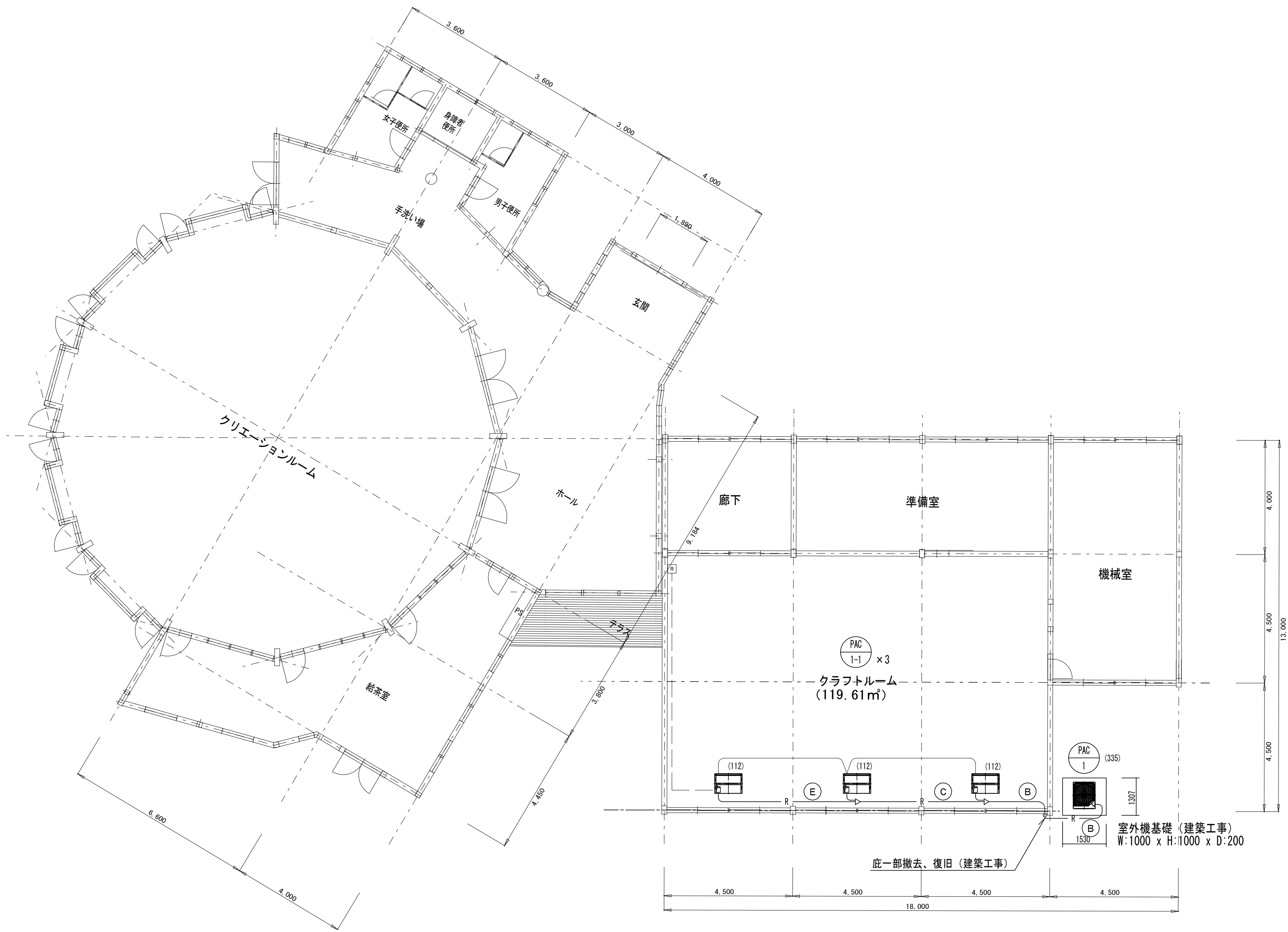


管理棟 平面図 3階 1/100

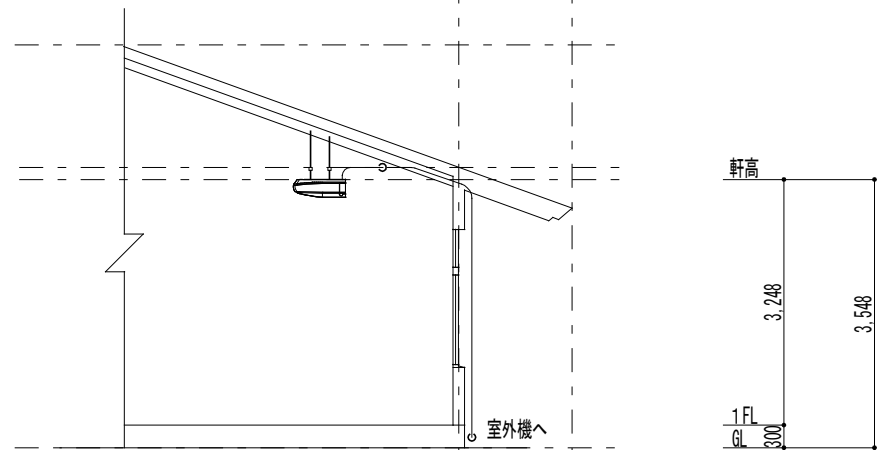
※以下の既設空調機器及び配管を撤去（再使用しない）する。
2階：職員室2台（新設機器同等サイズ）
2階：事務室2台（新設機器同等サイズ）
3階：音楽室1台（新設機器同等サイズ）

冷媒管サイズ			
記号	ガス	管液	管
(A)	28.6φ	12.7φ	
(B)	25.4φ	12.7φ	
(C)	25.4φ	9.5φ	
(D)	19.1φ	9.5φ	
(E)	15.9φ	9.5φ	
(F)	12.7φ	6.4φ	
(G)	9.5φ	6.4φ	

※各室外機には転倒防止金物を取付ける事
A C-1ドレンアップ管はドレンホースを冷媒管共巻とし、最寄り雨水樹等に放流（VP管使用）する事
（A C-1系統以外はVP管にて施工する事）
冷媒管は保温厚20mmを使用する事
●ダイヤモンドコア貫通を示す（レントゲン撮影共）
A C-1ルームエアコンの露出配管はスリムダクトにて仕上げる事
普通教室に取付けるOAGは建築工事とする



平面図



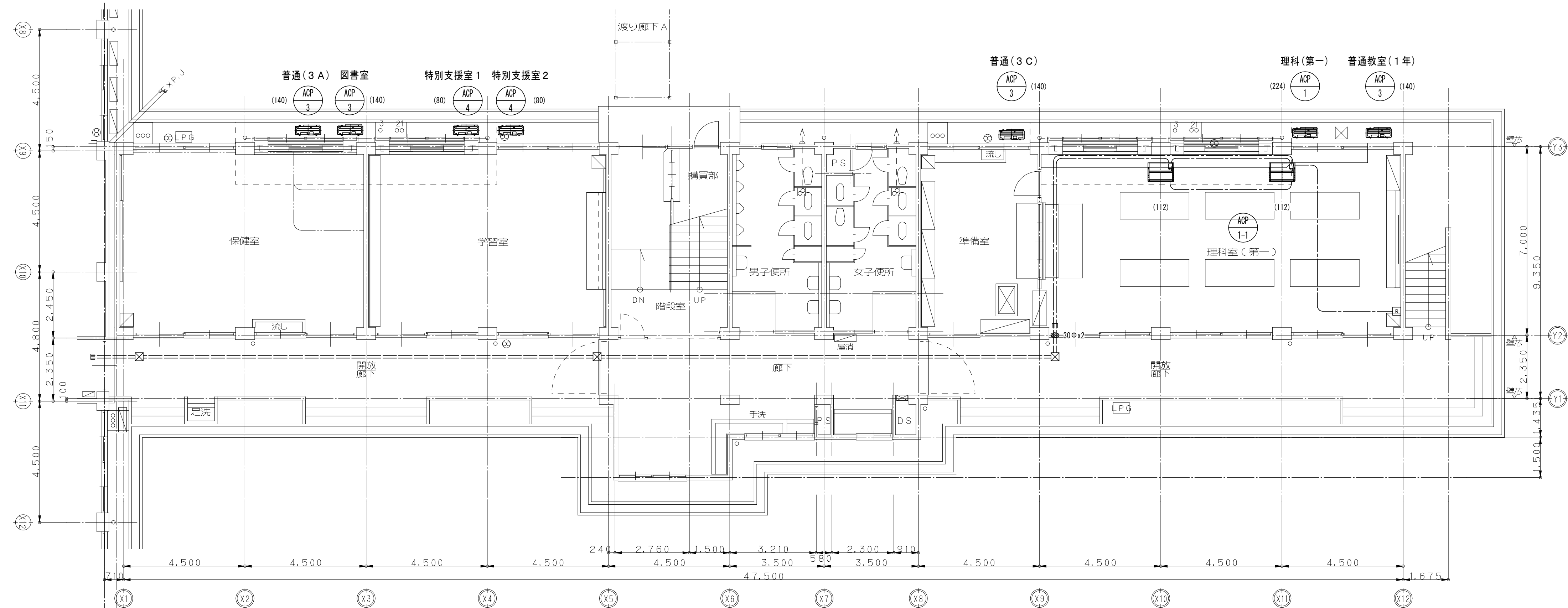
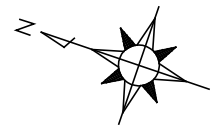
クラフトルーム 断面図

梁より支持材引き下けし、鋼材受け。
鋼材より機器吊り込みとする。
冷媒管・ドレン管は露出配管(化粧)とし、
底部分より屋外へ引き下けとする。
但し、機器吊り込み高さ及びドレン勾配等で経路変更の場合は、
監理員と協議の上に変更内にて変更する。

冷媒管サイズ			
記号	ガ	ス	管液 管
(A)	28.6	φ	12.7φ
(B)	25.4	φ	12.7φ
(C)	25.4	φ	9.5φ
(D)	19.1	φ	9.5φ
(E)	15.9	φ	9.5φ
(F)	12.7	φ	6.4φ
(G)	9.5	φ	6.4φ

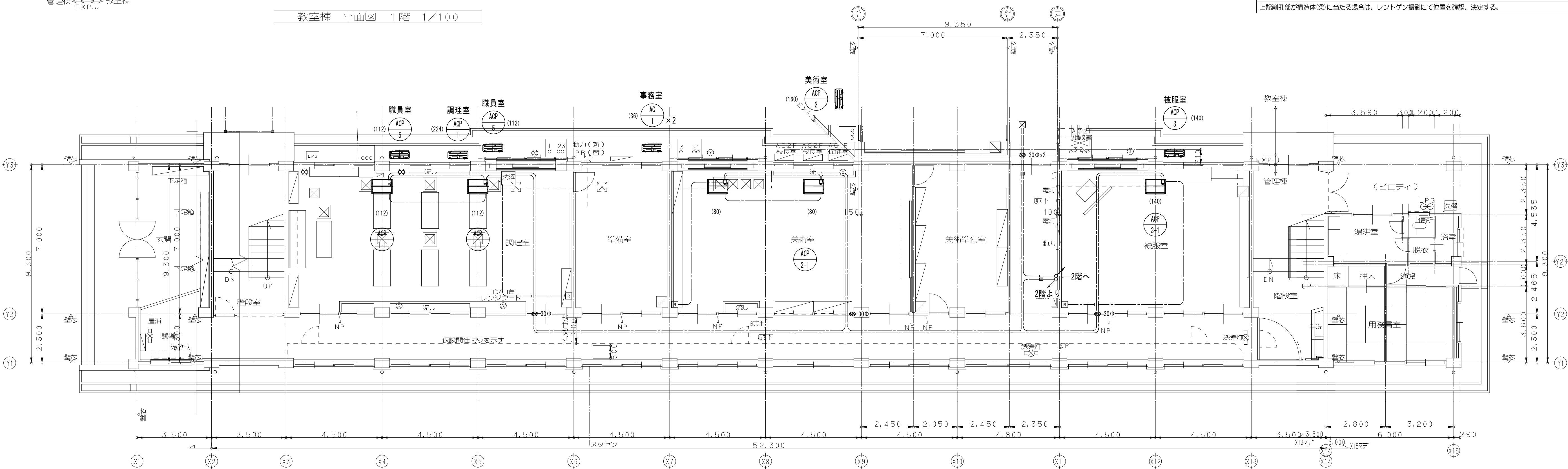
※各室外機には転倒防止金物を取付ける事
ドレンアップ管はドレンホースを冷媒管共巻とし、最寄り雨水槽等に放流（VP管使用）する事
冷媒管は保温厚20mmを使用する事
機械基礎及び庇の解体復旧は建築工事にて行う
空調室内機～ワイヤードリモコンへの配線は、EM-AE1.2-20とする（内機渡りは冷媒管共巻き）。
露出配管部はCP19とし、現況室内意匠を考慮して施工する。
各室ワイヤードリモコンは、鍵付ボックス内に収納とする。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びブルボックスは、この限りではない。

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図				設計・監理	一級建築士事務所
1:100 SCALE				野中建築設計事務所	
カルチャークリエーションセンター 空調設備1階平面図				1級建築士第147931号 野中健一	
DW	CK	NO.	M-06	DATE	27-03
				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408	



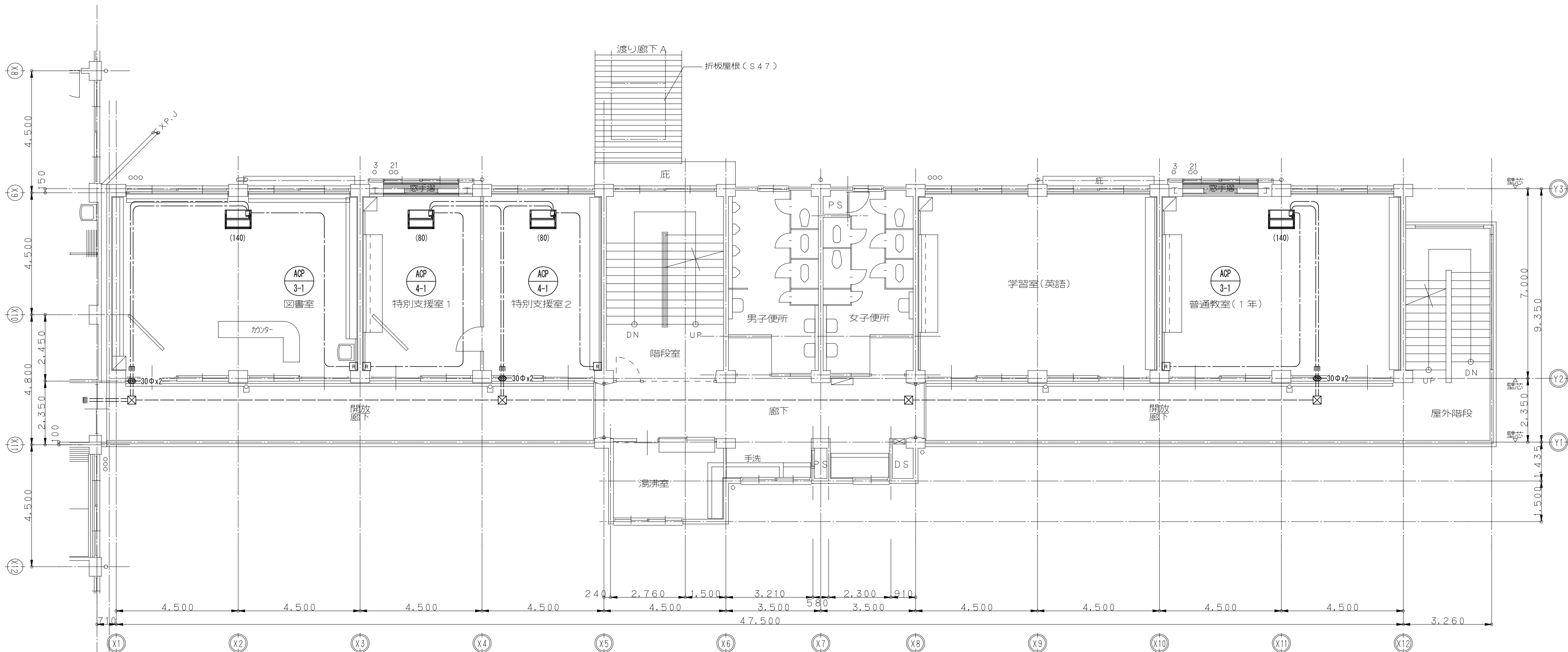
教室棟 平面図 1階 1/100

特記無きものは以下の通りとする
空調室内機～ワイヤードリモコンへの配線は、EM-AE12-2Cとする。
集中制御配線は、EM-C-E125s-a-2C（露出部CP19）とする。
集中制御配線の内、壁掛型ルームエアコンは対象外とする。
各室ワイヤードリモコンは、壁付ボックス内に収縮とする（ワイヤレスリモコンは対象外）。
集中制御リモコン・ワイヤードリモコンへの露出配線部は、1種金具せんび(MM1)にて保護とする。
各露出配管部（CP19）及びフルボックス（SS 150x150x150 WP-SUS）には、D種接地を施す。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びフルボックスは、この限りではない。
屋内配線は二重天井内こがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。
● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。
上記開孔部が構造物(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。



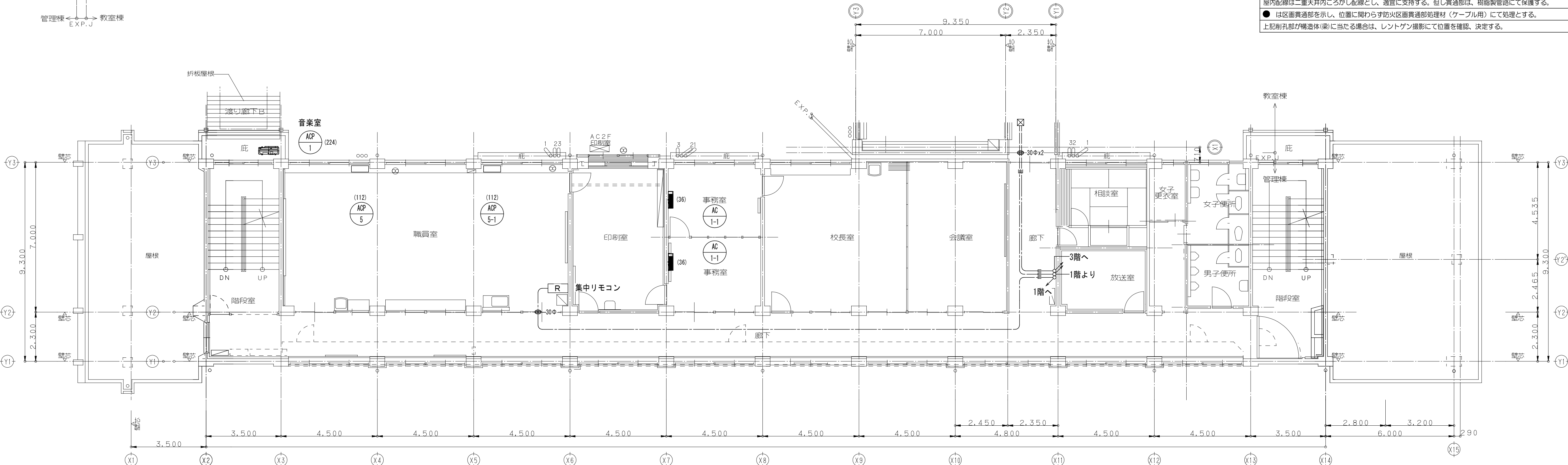
管理棟 平面図 1階 1/100

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図				設計・監理 一般建築士事務所
1:1000 SCALE	SCALE	SCALE	SCALE	野中建築設計事務所
教室棟・管理棟 自動制御1階平面図				1級建築士第147931号 野中健一
DW.	CK.	NO.	M-07	DATE 27-03
				〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408

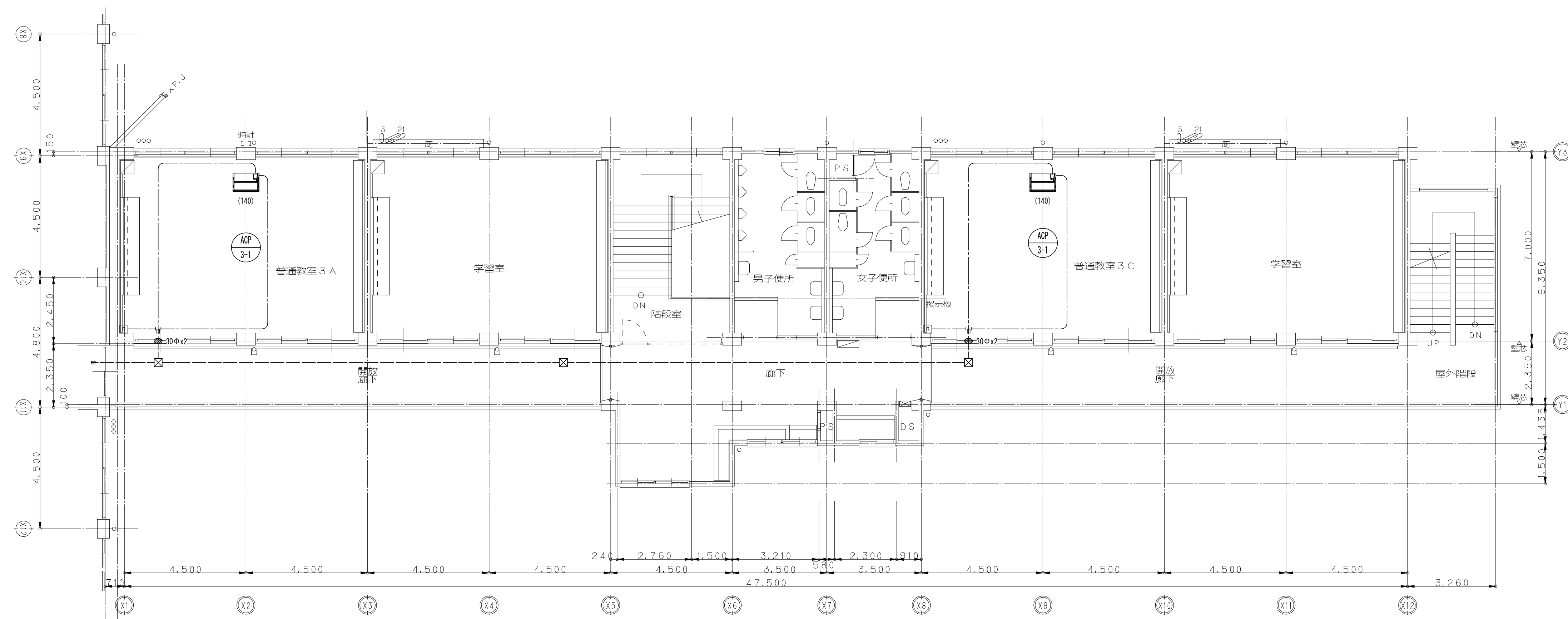
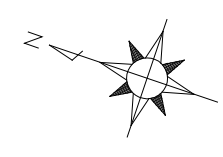


教室棟 平面図 2階 1/100

特記無きものは以下の通りとする
空調室内機〜ワイヤードリモコンへの配線は、EM-AE1.2-2Cとする。
集中制御配線は、EM-C EE 125 s α-2 C（露出部CP19）とする。
集中制御配線の内、壁掛型ルームエアコンは対象外とする。
各室ワイヤードリモコンは、露付ボックス内に収納とする（ワイヤレスリモコンは対象外）。
集中制御リモコン・ワイヤードリモコンへの露出配線部は、1種金属せんび（IMM1）にて保護とする。
各露出配電部（CP19）及びプルボックス（S S 150x150x150 WP-SUS）には、D種接地を施す。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びプルボックスは、この限りではない。
屋内配線は二重天井内を沿って配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。
● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。
上記穿孔部が構造体（梁）に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。

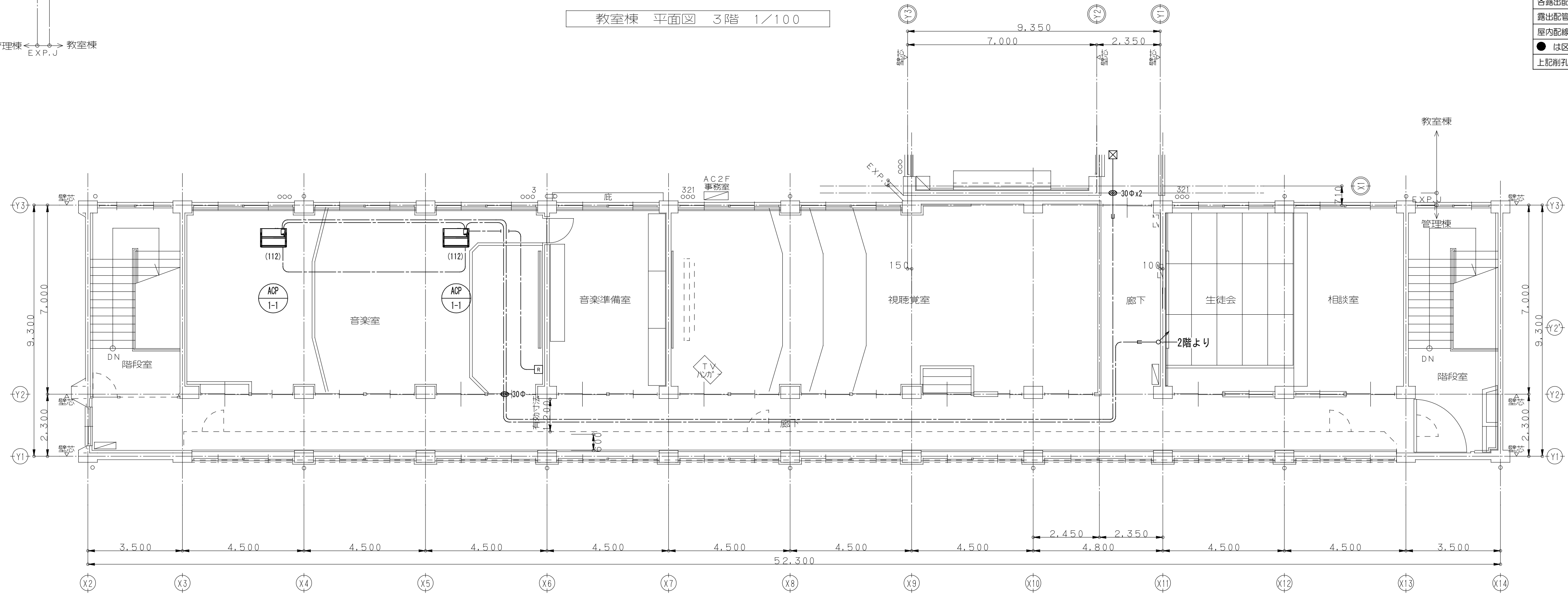


管理棟 平面図 2階 1/100



教室棟 平面図 3階 1/100

特記無きものは以下の通りとする
空調室内機～ワイヤードリモコンへの配線は、EM-AE12-2Cとする。
集中制御配線は、EM-CE E125s q-2C（露出部CP19）とする。
集中制御配線の内、壁掛型ルームエアコンは対象外とする。
各室ワイヤードリモコンは、鍵付ボックス内に収納とする（ワイアレスリモコンは対象外）。
集中制御リモコン・ワイヤードリモコンへの露出配線部は、1種金属せんび(MM1)にて保護とする。
各露出配管部（CP19）及びフルボックス（SS 150x150x150 WP-SUS）には、D種接地を施す。
露出配管は、指定色塗装を施す。但し配管支持材及びフルボックスは、この限りではない。
屋内配線は二重天井内ころがし配線とし、適宜に支持する。但し貫通部は、樹脂製管路にて保護する。
● は区画貫通部を示し、位置に関わらず防火区画貫通部処理材（ケーブル用）にて処理とする。
上記制孔部が構造体(梁)に当たる場合は、レントゲン撮影にて位置を確認、決定する。



管理棟 平面図 3階 1/100

京丹波町立中学校・幼稚園空調設備工事（和知中学校） 設計図					設計・監理 一般建築士事務所
1:100 SCALE		SCALE		SCALE	野中建築設計事務所
教室棟・管理棟 自動制御3階平面図		DW.		CK.	1級建築士第147931号 野中健一
NO.		M-09		DATE	〒622-0014 京都府南丹市園部町上本町南2-20 TEL 0771-62-0288 FAX 0771-62-0408
				27-03	